

令和5年度 公民館ビジョン取組実績報告書兼推薦書

公民館名： 生涯学習総合センター

取組名

【 人 づくり、 つながり づくり】生涯学習総合センターは、学習情報の提供や相談活動による「人づくり」や、学びを通じた人と人との「つながりづくり」を推進します。

取組を定めた要因や背景、地域課題、住民ニーズ等

より多くの方が生涯学習活動に参加することができるよう、学習を通じた人と人をつなぐための支援や、市民の学習ニーズに対応した学習情報の提供やボランティアとの協働による生涯学習相談事業が必要であるため。

令和5年度の成果・課題・住民との協働事例等

＜取り組んだ内容や、住民との協働事例等＞
生涯学習情報コーナーについて、公民館報の掲示や、団体・各種講座等の情報収集・提供を行った。
また、生涯学習相談ボランティア「えらベル」との協働による生涯学習相談を実施し、相談者に対する助言・サポート・紹介等の活動を行った。

＜取組による成果＞
生涯学習情報コーナーの掲示物、特に活動団体の募集に関する問い合わせが複数件あるなど、市民に情報が届いていることが感じられた。
また、生涯学習相談は24回（出張相談会1回を含む）実施し、参加者は延136名であった。

＜今後の課題＞
今年度は出張相談会として生涯学習振興課主催の生涯学習フェスティバルへ出展した。生涯学習総合センターでの相談会に参加できない市民のため、こうした出張相談会を今後も継続していく必要がある。

令和5年度 公民館ビジョン取組実績報告書兼推薦書

公民館名：指扇公民館

取組名

【人づくり】

指扇公民館は、様々な内容の事業を創生し、生涯学習を助け、地域人材との協働を図ります。

取組を定めた要因や背景、地域課題、住民ニーズ等

近年の区画整理により、指扇地区に長く住み続けている住民と新しい住民が混在しているため、公民館を拠点として交流を図り、自らの住む街を好きになる人づくりをするため。

令和5年度の成果・課題・住民との協働事例等

<取り組んだ内容や、住民との協働事例等>

藍染め体験講座では、地域住民を講師に迎え、Tシャツやハンカチなどの藍染を体験し、地域住民を活用する講座が開催できた。また、市民の日記念事業として、受講者の作品を公民館ロビーに展示した。

指扇史跡巡りでは、地域住民同士の交流と地域への理解を深め愛着を持てる人づくりを行うため、地元在住の青少年育成指扇地区会会長を招聘し、指扇地区の史跡の名所を2時間かけて巡った。

<取組による成果>

藍染体験講座では、定員を超える応募があり、午前の部12名、午後の部13名の参加があった。指扇公民館の講座に初めて参加する方もいたが、制作した作品を展示することで、公民館に興味・関心を持ってもらうことができたと感じている。

指扇史跡巡りでは、11名の参加があった。地域の名所を訪れ、普段目にすることはあっても由来や歴史などについて知らないことも多く、今回の講座で地域への愛着を持つきっかけづくりとなったと感じている。

<今後の課題>

公民館の主催講座では、65歳以上を対象としたものが多くを占めている。今回の事業は土曜日実施であったため、30歳代から80歳代までと幅広い年齢層の参加があった。今後においても、若い世代や子育て世代が集える曜日、実施時期などの検討、公民館運営に参画してもらえる取組が必要と考える。また、登録団体や地域団体に参加・協力してもらう取組についても推進していきたい。

令和5年度 公民館ビジョン取組実績報告書兼推薦書

公民館名： 馬宮 公民館

取組名

【地域づくり】

誰もが「住みやすい」「住み続けたい」と思える「地域づくり」を進めるために、SDGsの普及、達成につながる「馬宮SDGsプロジェクト」の取組みをした。

取組を定めた要因や背景、地域課題、住民ニーズ等

さいたま市内公共施設で「SDGs」の取組みをしていた地域の小学生が自分の住んでいる「馬宮地域」で取組みを発信したいと相談を受けたことがきっかけで、令和3年度の環境講座参加者で「世界に目を向けよう～今、私たちにできること～チーム馬宮」という団体が発足された。その団体と公民館が協力して、SDGsを自分ごととして考え、一人一人が未来のためにできることを実践するために、SDGsを発信する取組みをすることになった。

令和5年度の成果・課題・住民との協働事例等

<取り組んだ内容や、住民との協働事例等>

- ・令和4年度に続き、団体との共催で「馬宮SDGsプロジェクト」講座（6/18・7/23・9/24・10/22）を開催した。6/18は「馬宮の歴史」、7/23は「馬宮の農業」、9/24は「地域防災」をテーマに、それぞれ地域の方に講師を依頼し、学んだことをポスターにした。10/22は馬宮公民館文化祭発表の部で成果を発表した。
- ・「近隣中学校との連携～中学生からのメッセージ～」として、各月で馬宮中学校と土屋中学校の生徒の作品を展示した。
- ・SDGsについて積極的な周知をするために、館内にSDGsの木を設置。公民館報で「SDGsプロジェクト」の取組状況を毎月掲載した。

<取組による成果>

- ・地域子ども達を中心となり、子ども達が学びたいことを企画し、講師依頼、当日の運営まで担当したので、地域の担い手となる若い世代の自主的な学びの支援ができた。また、地域で実際に活動している方々を講師としたことで、地域とは多様な人材の宝庫であることを再認識できた。
- ・連続講座としたことで年齢・性別・立場の違いを越えて地域住民同士様々な方々と学びを共有することができ、昨年度の参加者が団体のメンバーになる等、学びの循環とともに参加者同士のつながりができた。
- ・毎回の講座後の作成したポスターの掲示や作品展示や文化祭において成果発表をすることにより個人の学びから地域に学びを発信できた。文化祭では近隣の学校長やPTA会長・学校運営協議会委員・保護者の参加もあり学校・地域・公民館の連携がしやすくなった。
- ・館内に参加型の掲示物を設置することにより、SDGsの取組みを可視化でき

た。

<今後の課題>

・令和6年度も継続して「馬宮 SDGs プロジェクト」講座を団体と協働し開催するが、団体の主メンバーが学生のため打合わせの時間や方法の工夫が必要と考える。

様式第1号（第4条関係）

令和5年度 公民館ビジョン取組実績報告書兼推薦書

公民館名：植水公民館

取組名

【つながりづくり】

植水公民館は、地域の魅力を再発見し、地域愛着の向上を促し「地域づくり」「つながりづくり」へ発展します。

取組を定めた要因や背景、地域課題、住民ニーズ等

植水地域には歴史的資産や伝説等が数多く残されており、その魅力を後世に残していくことが課題である。これからの時代を担う子どもたちにわかりやすく紹介・啓発できる手段が乏しいことを地域在住の郷土史研究者等より相談を受けたことがきっかけになり、植水地域に伝わる「八百比丘尼伝説」の紙芝居制作に取り組むこととした。

令和5年度の成果・課題・住民との協働事例等

＜取り組んだ内容や、住民との協働事例等＞

- ・地域の方々と一緒に実行委員会をつくり、紙芝居制作に必要な打ち合わせを何度も重ねた。
- ・令和4年度につくったシナリオを吟味し、郷土史研究者である実行委員長と校正を重ねながら紙芝居制作に必要な準備をおこなった。
- ・埼玉県立大宮光陵高等学校美術部に紙芝居の作画を依頼し、修正をしながら完成させた。
- ・印刷製版で紙芝居を完成させ、地域の学校へ配布した。

＜取組による成果＞

- ・区域内の高校である大宮光陵高等学校美術部の生徒に作画を依頼することで、あまり公民館と関わりのなかった高校とも一緒に活動に取り組むことができた。
- ・忘れ去られてしまいそうな「八百比丘尼伝説」を地域の方々と一緒に学びなおし、紙芝居という媒体を制作したことで、今後も末永く学校等で植水地区の魅力を伝え続けてもらう手伝いをする事ができた。

＜今後の課題＞

- ・作り上げた紙芝居を地域の学校で活用してもらうための方策を、植水公民館長も出席している学校運営協議会で取り上げてもらい、地域・学校・公民館が一体となって検討してもらう必要がある。

様式第1号（第4条関係）

令和5年度 公民館ビジョン取組実績報告書兼推薦書

公民館名：内野公民館

取組名

【つながりづくり】

内野公民館は、音楽でつながる、学びでつながる地域づくりを推進します。

取組を定めた要因や背景、地域課題、住民ニーズ等

内野公民館は、市内で最も新しい公民館であり、対象区域である三橋5・6丁目、宮前町の結びつきも強いとはいえない状況にある。このため、公民館では、開館以来、音楽をツールとしたつながりづくりに力を入れてきた。

音楽は、聴衆として気軽に参加でき、聴く人に一体感を与える有力なツールであることから、ビジョンに取り入れることとした。

令和5年度の成果・課題・住民との協働事例等

<取り組んだ内容や、住民との協働事例等>

(1) ロビーコンサート 3回 (6/5、10/2、12/4)

(2) その他のコンサート 2回 (6/4、12/9)

(3) 歌声サロン 9回 (3日間×3回)

このうち、(1)は、市民の公募による「ロビーコンサート企画委員会」が、出演者、開催日時、プログラムなどを決定し、会場設営や司会進行までを行っている。

また、企画委員会委員には、音楽関係者が多いことから、ロビーコンサート以外の音楽イベントに関しても御協力やアドバイスをいただいている。

<取組による成果>

内野公民館が開催するコンサートは、近年人気が高まっており、今年度では、すべて受付開始当日に満席になるほどである。

また、参加者のほとんどから「良かった」、「感動した」などの感想をいただき、次回はいつやるのか質問されることも多い。

<今後の課題>

(1)については、コロナ禍のため中止していた公募による出演を再開したところ、応募者が多く、企画委員会が選考に苦労している状況である。また、企画委員も募集し、新たな人材、新たな企画を取り入れることとしている。

(2)については、できるだけ地域にゆかりのある人材に出演していただきたいが、地域人材をどの程度発掘できるかが課題である。

令和5年度 公民館ビジョン取組実績報告書兼推薦書

公民館名：大砂土公民館

取組名

【つながりづくり】地域の小・中学校や自治会等の代表者、公民館利用の代表者で組織される任意団体の協議会の下、協働で地域の「つながりづくり」の場を提供することで、地域住民の「郷土愛」を育みます。

取組を定めた要因や背景、地域課題、住民ニーズ等

公民館は、地域住民の重要な交流拠点であり、地域住民の更なる「つながりづくり」を「世代間交流事業」として実施することで、地域住民の「郷土愛」の育みにつながると考えたことによるものです。

令和5年度の成果・課題・住民との協働事例等

<取り組んだ内容や、住民との協働事例等>

大砂土公民館／生涯学習まちづくり協議会との協働による事業として、地域在住の三世代(親・子・孫)を対象にしたイベント「三世代ふれあいフェスタ in 泰平小2023」を企画実施した。当該イベントでは、地域にある小・中学校・高校の児童・生徒による舞台発表や工作体験等の催しを実施しました。

<取組による成果>

地域の小・中学校や自治会等の代表者が協議会委員であるため、児童・生徒の参加はもとより、その親や祖父母等の参加にもつながったことから、多世代わたる世代間交流を通じた「つながりづくり」の場が実現し、郷土愛を育む一助となりました。

<今後の課題>

「三世代ふれあいフェスタ in 泰平小2023」は、土曜日1日のみの開催ですが、600人近い来場者がありました。公民館の事業として実施するには規模が大きすぎることや、運営に携わる協議会委員が高齢者であること、そして、現在の公民館の人員体制は常勤職員が3名（R5は1名休職中）であることなどから、今後において同規模での実施は難しいと考えております。

今年度は、開催会場となった小学校の教職員に会場の設営や撤去等を行っていただくなど、多大なる支援をいただき、当日は事故による怪我人もなく無事実施することができました。

今後においても、運営に携わる協議会委員が高齢者であること、運営に携わる職員の不足が見込まれるので、いかに開催会場となる小学校の教職員の支援が得られるかが実施に向けての課題と考えております。

令和5年度 公民館ビジョン取組実績報告書兼推薦書

公民館名：日進公民館

取組名

【人づくり】

「学びたい」ことを学べる、学び直しができる公民館

取組を定めた要因や背景、地域課題、住民ニーズ等

幅広い世代の地域住民の、身近な場所で、身近な講師により「学び直してみたい」「もっと学びたい」という気持ちに応えられる公民館をつくりたい。

令和5年度の成果・課題・住民との協働事例等

＜取り組んだ内容や、住民との協働事例等＞

- ・ボランティア活用のノウハウを得るため、夏休み子ども公民館運営の、中学生・高校生ボランティアの募集と活用。
- ・人材発掘の一環として、主催講座で地域在住の講師を依頼した。
 - ①「理科」見沼グリーンセンター職員による ハーブ講座・岩槻在住の元教員による科学教室
 - ②「数学」岩槻在住の元教員による数学講座
 - ③「社会」県立歴史と民俗の博物館職員による、所蔵する刀剣についての歴史講座
 - ④「美術」地域在住専門家による絵画教室・木目込み人形教室・フラワーアレンジメント教室
 - ⑤「体育」地域包括センター「ゆめの園」職員によるフレイル予防講座
 - ⑥「特別支援教育」埼玉大学教育学部附属特別支援学校副校長先生による特別支援教育理解講座
- ・近隣の埼玉大学教育学部附属特別支援学校の児童・生徒と地元住民とで、公民館の花壇整備活動を実施するとともに、同校に障害者理解講座の講師を依頼した。
- ・月ごとに、「日進ギャラリー」として地域サークルや個人から参加を募り、作品を公民館内に展示し地域にどんな技を持った人たちがいるかを紹介。

＜取組による成果＞

- ・様々な世代の方に、地域の匠による講座を提供し、高い評価をいただいた。
- ・若い世代に、公民館の存在を周知することができた。
- ・若い世代が公民館に対して持っているイメージをつかむことができた。
- ・近隣の特別支援学校の生徒との交流や講座を通じて、障害者理解が深まった。
- ・地域に、公民館が「学びの場」であることを認識してもらう機会をつくることができた。

<今後の課題>

- ・公民館について、「地域住民が学習するところ」という認識が、若い世代だけでなく、十分に足りていない。
- ・これからも、様々な世代を対象とした「日進・地域の匠（たくみ）による講座」を推進する。
- ・地域の人材発掘のために、利用団体や他の事業実施団体と情報交換をする。

令和5年度 公民館ビジョン取組実績報告書兼推薦書

公民館名： 宮原 公民館

取組名

【つながりづくり】

宮原公民館は、「つながりづくり」を進めるために、地域の皆さまと共に地域の活性化に向けた環境をつくります。

取組を定めた要因や背景、地域課題、住民ニーズ等

現在、宮原公民館の利用者の多くは65歳以上の高齢者であり、若者世代の利用が少ない状況にあることから、異なる年齢層の方々が一堂に会し交流できる場を提供することで、地域の活性化にも繋がるものと考えました。

令和5度の成果・課題・住民との協働事例等

＜取り組んだ内容や、住民との協働事例等＞

小中学校関係者や地域団体の方々、地域の住民の方などと連携することで、宮原公民館地域にある小中学校の児童・生徒による演奏と、プロの音楽グループによる演奏が鑑賞できる「クリスマスコンサート」を12月に、「スプリングコンサート」を3月に、宮原コミュニティーセンターとの共催で開催することができました。また、会場となった宮原コミュニティーセンターには、子どもから高齢者の方まで大変多くの方に来場いただきました。

＜取組による成果＞

地域の方々への働きかけや広報活動を通じてコンサートの鑑賞者募集を行った結果、定員を超える募集があり関心の高さを感じました。今まであまり接点のなかった若者世代に、公民館の事業を身近に感じてもらえたのではないかと思います。クリスマスコンサートでは、プロの演奏者と生徒とのコラボレーション演奏や来場者との合唱もあり、会場全体が一体となりました。また、スプリングコンサートでは、生徒のパフォーマンスに会場が和んだり、プロの圧巻の演奏に静まり返り聞き入ったりする場面もありました。コンサート鑑賞は、公民館ビジョンに掲げた「つながりづくり」として、世代を超えた地域の交流の場となりました。

＜今後の課題＞

公民館に集える場(講座・イベント等)を提供する際には、事前に若者世代が今何に関心を持っているのかを把握しておく必要があります。若者の声を取り入れるため、児童・生徒・その保護者が集まるような子どもまつり・文化祭でアンケート調査を実施していきたいです。

令和5年度 公民館ビジョン取組実績報告書兼推薦書

公民館名：植竹公民館

取組名

【人づくり】

公民館利用者や地域の方々が共に楽しめる活動を通して、地域との連携強化に努めながら「魅力ある学びの場」を提供する

取組を定めた要因や背景、地域課題、住民ニーズ等

公民館利用者は高齢の方が多いため、幅広い世代の地域の方々に公民館を知っていただきたい。そのために、利用者や地域団体、小中学校等の意見や要望を積極的に聞き、地域の方々にとって身近で魅力的な学びの場としたい。

令和5年度の成果・課題・住民との協働事例等

<取り組んだ内容や、住民との協働事例等>

- ・取組の具体化を図るため、植竹地域連絡協議会や公民館利用者説明会をとおして事業計画や地域行事等について情報交換ができた。
- ・該当地域の小中学校の学校評議会、学校関係者評価委員会、学校運営協議会のメンバーと積極的な情報交換と意見交換を行った。

<取組による成果>

- ・公民館利用者、クラブや団体の活動発表については、相互理解が深まり活動全体が明るく積極的になった。
- ・作品展については、開催期間と個性的な展示作品が高い評価を受けた。
- ・地域からの強い要望であった「わかたけスマイルフェスティバル」が広い会場である中学校の体育館で多くの参観者を招いて開催できたことは大きな成果であった。改めて「地域の意見を聞くことを重要視する大切さ」を痛感させられた。また、継続の必要性も感じた。

<今後の課題>

- ・今後は、より効率的な取組を図るために、さらに関係機関との連携強化並びに各小中学校との積極的な情報交換に努めたいと考えている。
- ・「わかたけスマイルフェスティバル」については、今回の反省を活かし開催時期や時間帯を再検討したい。また、地域の強い要望に配慮し継続的に取り組みたい。

令和5年度 公民館ビジョン取組実績報告書兼推薦書

公民館名： 桜木 公民館

取組名

【つながりづくり】

人々のつながりの場をつくるとともに、地域課題を解決するための魅力あふれる様々な学びの機会を設ける。

取組を定めた要因や背景、地域課題、住民ニーズ等

都市部にある公民館として、地域に住む高齢者が孤立しないよう「地域とのつながりをはぐくむ場」の創生を目的に取り組みました。

令和5年度の成果・課題・住民との協働事例等

<取り組んだ内容や、住民との協働事例等>

地域の高齢者の居場所づくりのため、地域包括支援センター春陽苑やボランティアグループと協働して介護予防や介護に関する学習会及び脳トレや折り紙等のレクリエーションを行う『さくらぎぷらっとサロン』を年4回開催しました。

<取組による成果>

実施回数が増すごとに、共催・協働団体間で事業をより良くしていこうという機運が生まれ、活発に意見交換をすることや互いの役割を尊重しあう雰囲気が生まれました。参加者はもちろんですが、主催側も一緒に楽しみ和やかな場を作ることができました。

桜木公民館で活動していた団体にも協力を打診したところ、来年度から運営に加わっていただけることになりました。（マジックの披露と体験）今後も公民館利用団体を中心に連携を広げていきます。

<今後の課題>

- ・地域の方にいかにして本事業の魅力について知ってもらい、関わりをもってもらえるようにするかが課題の1つです。
- ・本事業が継続できるよう、公民館主導ではなく、地域主導となるためのシステム作りをいかにしていくかが課題としてあります。
- ・事前申込不要で参加者数の把握ができないため、協力団体に準備をお願いしている材料（折り紙やちぎり絵等）に不足が生じないように用意していただくことが課題です。

令和5年度 公民館ビジョン取組実績報告書兼推薦書

公民館名： 大宮南 公民館

取組名

【つながりづくり】

- ・ふれあいや交流の場所を提供しながらコミュニティの推進を深める。

取組を定めた要因や背景、地域課題、住民ニーズ等

- ・多くの人とのつながりの場の拠点となることを検討していった中で、地元の学校や社会福祉協議会などとの連携を図っていく取組みを行った。

令和5年度の成果・課題・住民との協働事例等

<取り組んだ内容や、住民との協働事例等>

- ・公民館サークルの方が講師を引き受けての小学校特別支援学級児童を対象にした「絵手紙講座」を開催した。
- ・公民館の敷地に花を植える「みなみ花クラブ」のボランティア活動への支援を行った。

<取組による成果>

- ・小学校を会場にしての講座を開いたことにより、特別支援学級児童との交流がこれまで以上に深まった。次年度以降も社会福祉協議会と協力しながら継続をしていく。
- ・「みなみ花クラブ」のボランティア活動内容を館内掲示及び館報にて紹介した。

<今後の課題>

- ・世代間交流を多角的に進めていくようにしていくこと。
- ・常に社会の変化を意識しながら公民館運営に取り組むことが必要である。
- ・大規模改修工事のため開催できなかった文化祭を、地域の人々と協力し開催させること。

令和5年度 公民館ビジョン取組実績報告書兼推薦書

公民館名：大宮中部公民館

取組名

【つながりづくり】

大宮中部公民館は、あらゆる世代が「気軽に」・「楽しく」・「何度でも」学べる拠点づくりに取り組むことで、地域コミュニティの活性化に貢献していきます。

取組を定めた要因や背景、地域課題、住民ニーズ等

「公民館ビジョン」が策定される以前より、文化祭にて学習成果を発表できる事業を館の重点事業として掲げていたため。また、館周辺の住環境も変化しており、誰でも気軽に参加できる事業を実施する必要があるため

令和5年度の成果・課題・住民との協働事例等

＜取り組んだ内容や、住民との協働事例等＞

- ① 大宮中部公民館文化祭（公民館まつり）を開催した。
 - ・参加団体：15団体
 - 【内訳】発表の部：10団体 展示の部：5団体
 - ・来場者数：278人
- ② サークル以外の方が「気軽に」・「楽しく」学んだ成果を文化祭で発表できる事業を実施した。
 - ・夏休み子ども公民館／陶芸（低学年、中・高学年の部）
 - ・ぼんぼん版画教室
- ③ 「気軽に公民館に立ち寄れる事業」として、以下の事業を実施した。
 - ・さいたま市民の日記念事業「春の中・高生作品展」
 - ・ふれあいコンサート
 - ・子どもギャラリー
 - ・文化祭関連事業 みんなで歌おう
 - ・サークル体験事業
 - ・春・お楽しみコンサート
- ④ 夏休み子ども公民館において、大宮東・第二東中学校の生徒による講座補助ボランティアを実施した。
- ⑤ 高齢者の生きがいづくりを目的に、大宮を巡る館外学習とフレイレ予防講座等の館内学習を組み合わせた「中部オレンジ教室」を実施した。
- ⑥ 「未来くるワーク体験事業」において館区内の中学校に協力し、生徒を受け入れた。
- ⑦ 館報に掲載した主催事業は二次元コードを記載するとともに、市ホームページから市生涯学習情報システムへリンクするよう設定した。また、35事業中、「展示のみ」の事業及び「当日参加のみ」の事業並びに第3希望

<p>まで受け付けする夏休み子ども公民館を除く21事業でWEB申込を実施した。</p>
<p><取組による成果></p> <ul style="list-style-type: none">・文化祭（公民館まつり）は、参加する側は「発表の場」を設けることによって、サークル活動の励みやサークル会員数の増加につながった。また、観覧する側は公民館活動に興味を持つきっかけづくりにつながった。・「夏休み子ども公民館／陶芸」及び「ぽんぽん版画教室」の作品展示は、参加者のモチベーションを上げるきっかけづくりにつながるとともに、文化祭観覧者から好評を得た。・「ふれあいコンサート」や「中部オレンジ教室」は、公民館に興味がある方に対して足を運ぶきっかけにつながった。・夏休み子ども公民館及び「未来くるワーク体験事業」への協力は、地域の小・中学生に対して、公民館がどういう施設であるかアピールする機会につながった。・館報の二次元コード掲載及びWEB申込は、開館時間に関係なく、館区外に在住する方も受け付けすることができ、DX推進につながった。
<p><今後の課題></p> <ul style="list-style-type: none">・大宮駅東口周辺は再開発事業等の進捗により、当館周辺の環境は変化し続けており、自治会に加入しないマンションの居住者も多く、地域との繋がりは他館と比較して薄い。また、サークルの高齢化及び新型コロナをきっかけに活動を休止したサークルもあり、利用人数はコロナ禍以前まで戻っていない。館区内外問わず、公民館に興味を持っている「潜在的な利用者」に対してアピールを工夫して、公民館の利用促進につなげること。

令和5年度 公民館ビジョン取組実績報告書兼推薦書

公民館名： 大宮北 公民館

取組名

【 つながり づくり】

大宮北公民館は、誰もが気軽に立ち寄れる、地域住民のつながりの場となります。

取組を定めた要因や背景、地域課題、住民ニーズ等

大宮北公民館を知ってもらい、公民館って何をしているのかを認知し利用者が公民館に親しみを持っていただけたら。

令和5年度の成果・課題・住民との協働事例等

< 取り組んだ内容や、住民との協働事例等 >

今まで公民館と関わりが無い世代に子育てを機会に公民館事業に参加し、参加者同士や、地域の社会福祉協議会とのつながりをもつきっかけにしてもらうため、子育てサロンを定期的を開催した。

< 取組による成果 >

子育てサロンを開催し参加者が公民館に足を運んでくれる機会を提供し、ママ友作りのお手伝いや、協力いただいた社会福祉協議会の方々等の地域の方とも毎月事業を開催する中で顔見知りになっていただき地域のつながりを持つことができた。

< 今後の課題 >

今後もサロンを継続させ、現在参加している方々が、次の子育て世代のためのボランティアをしていただけるようなつながりが出来ればと考えています。

令和5年度 公民館ビジョン取組実績報告書兼推薦書

公民館名：三橋公民館

取組名

【つながりづくり】

学び、つながりを求める地域住民への情報提供および活動成果を発表できる場づくり。

取組を定めた要因や背景、地域課題、住民ニーズ等

高齢化などによって、サークルの会員数が減少傾向にあり、サークルは会員増加のきっかけを求めている。また、地域住民も「学び」と「つながり」の情報提供を求めている。

令和5年度の成果・課題・住民との協働事例等

<取り組んだ内容や、住民との協働事例等>

- ・サークル体験 Week

公民館登録サークルの活性化と学習の機会促進を目的に各サークルの日頃の活動内容を体験してもらう事業。従来のサークル体験 Day を1週間に拡大。

- ・ロビー展示

日頃の活動の成果を発表する場としてロビーに作品を展示し、多くの来館者の目に触れるようにする。

<取組による成果>

- ・サークル体験 Week では、7日間で様々な分野の23サークルが参加。延べ61名が体験に参加し、体験を機にサークルに入会した参加者も複数おり、サークルの活性化と、「学び」の機会提供につながった。
- ・ロビー展示では、6サークルの作品を展示したほか、「冬休み子ども公民館／書きぞめ教室」の作品や大宮国際中等教育学校の生徒作成による写真集も展示し、多世代の地域交流の場を創出した。

<今後の課題>

令和6年度については、7月から中規模修繕工事による休館となるため、事業の縮小が見込まれる。また、ロビー展示については参加サークルが固定化しており、新規サークルの展示を促していくことも考えたい。

令和5年度 公民館ビジョン取組実績報告書兼推薦書

公民館名： 大成 公民館

取組名

【つながりづくり】

大成公民館は、誰もが気軽に立ち寄れる、地域住民のつながりの場となります。

取組を定めた要因や背景、地域課題、住民ニーズ等

公民館に足を運ぶ方々は住民のごく一部に限られていて、特に高齢層が多くなっています。貸館と思っている利用者も多いのが現実であり、できる限り多くの方々に足を運んでもらうこと、また、公民館は学びの場であり地域活動の拠点であることを周知する必要があると考え、取組を始めました。

令和5年度の成果・課題・住民との協働事例等

<取り組んだ内容や、住民との協働事例等>

- ・大成公民館まつりを開催しました。公民館を知ってもらえる機会となりました。
- ・夏休み子ども公民館において、大成中学校の生徒によるボランティア体験を実施しました。
- ・未来くるワーク体験において、大成中学校の生徒を受け入れました。
- ・大成公民館へ気軽に行こうと思える事業として、“ピアノミニコンサート”や“ハロウィンコンサート”を実施し、公民館という場所に行くハードルを低くするための企画を開催しました。
- ・未就園児と保護者が公民館で遊びながら交流できる機会づくりとして“おおなり おやこサロン”を合計10回開催しました。

<取組による成果>

- ・初めて大成公民館に来館された方や、公民館自体が初めての方もおり、足を運んでもらうための事業としては一定の成果をあげることができました。
- ・“おおなり おやこサロン”も予定の定員を上回る申し込みがありました。地域の若い世代（子育て世代）を公民館に呼び込む良い機会を提供できました。

<今後の課題>

- ・講座がマンネリ化をしているものもあり、社会が求めるニーズをしっかりと把握し、良質な学びの機会を提供できるようにするのが課題です。
- ・地域活動も高齢化が進んでおり、公民館が協力できる機会を見つけサポートできる態勢をどのように作っていくか考える必要があります。

令和5年度 公民館ビジョン取組実績報告書兼推薦書

公民館名：大宮東公民館

取組名

【地域づくり】

学校・地域団体と協力し、地域を共につくり、地域をつなぐ拠点となります。

取組を定めた要因や背景、地域課題、住民ニーズ等

自治会等内部の住民同士のつながりや自治会等の地域間のつながりが強く、また、各種事業に協力関係にある団体が多い地域の特性を生かし、各種団体との協力、協働できる講座を実施し、多くの利用者が公民館活動に参加し、住民参加の地域づくりを目的に取り組みました。

令和5度の成果・課題・住民との協働事例等

<取り組んだ内容や、住民との協働事例等>

- ・ 地区大運動会、地区文化祭、ビーチボール大会など地域団体との協働事業の開催
- ・ 児童館との共催による百人一首かるた取り体験会の開催
- ・ 小学校PTAとの共催による家庭教育講演会の開催
- ・ 近隣高校生によるボランティア体験の実施

<取組による成果>

各種事業をとおし、各自治会等のつながりがより一層強化されるとともに、若者が指導者となる事業、若者が参加する事業をとおし、年代間のつながりを持つことができた。また、地域の団体との連携強化が図られた。

<今後の課題>

取組目的を実践するためには、多くの住民の方の参加が必要であり、特に若い世代が魅力を感じる事業を計画、実施し、若い世代の方の参加を促進するのが課題の一つです。

また、取組の目的を多くの住民の方に理解していただくために、内容の周知、広報の方法が課題となっています。

令和5年度 公民館ビジョン取組実績報告書兼推薦書

公民館名： 大砂土東 公民館

取組名

【 つながり づくり 】

大砂土東公民館は、誰もが気軽に立ち寄れる、地域住民のつながりの場となります。

取組を定めた要因や背景、地域課題、住民ニーズ等

講座・団体利用の両方とも、参加者が固定化されている傾向にあります。地域団体と連携することで、新たな公民館利用者の掘り起こしや、地域の活性化や愛着の形成を目指しました。

令和5年度の成果・課題・住民との協働事例等

<取り組んだ内容や、住民との協働事例等>

地域団体と連携して取り組む講座・イベントを実施し、新たな公民館事業の実施や地域のつながりづくりを進めました。具体的には、青少年育成大砂土東地区会、大砂土東地区体育振興会と共催して、コマ図をもとに地域を歩く「ウォークラリー大会」に加え、大和田銀座商店会に協賛した「ハロウィーンパレード」を開催しました。

<取組による成果>

2事業とも普段公民館利用の少ないファミリー層の参加が多く、そのような方たちに公民館を知ってもらい、事業に参加してもらうことができました。

<今後の課題>

新たな参加者に引き続き公民館事業に関心をもってもらい、参加してもらえるように引き続き講座企画していきたい。

令和5年度 公民館ビジョン取組実績報告書兼推薦書

公民館名： 片柳 公民館

取組名

【 地域づくり 】

地域の小中学校や社会教育団体、関連施設等と連携した地域伝統文化の継承事業や世代間交流事業の推進を目指した地域コミュニティづくり

取組を定めた要因や背景、地域課題、住民ニーズ等

本公民館地区は、市内でも高齢化率が高く、児童生徒数も減少傾向にあるなど少子高齢化が顕著な課題となっている。そのため高齢者の生きがいや活躍の場づくりとともに、地域ぐるみの子育てや地域全体での子育て支援体制づくりなどが喫緊の重要課題となっている。そこで、地域交流の促進を図るとともに、世代間の交流にも重きを置いて「地域のお年寄りや大人たちと子どもたちとの交流の場づくり」とともに「中学生や高校生と小学生とのふれあいの場づくり」など、幅広い世代間の交流を図っていく中で地域づくりを進めていきたいと考えた。

令和5年度の成果・課題・住民との協働事例等

<取り組んだ内容や、住民との協働事例等>

(1) 地域伝統文化芸能の継承事業の推進

片柳公民館と片柳伝統文化保存会、片柳中学校3者の共催で、「地域伝統文化の継承及び世代間交流を図る」ことを目的に地域の夏祭りでの実演を目指した「お囃子体験教室」並びに地域の小中学校への出前講座「伝統文化教室」を実施した。

(2) 地域の学校及び社会教育団体等との連携推進

地域づくりの核となる地域の小中学校との連携推進を中心に、片柳コミュニティセンターや片柳地区の育成会、PTA連合会、社会福祉協議会、自治会連合会等の地域団体との連絡調整を図り、地域交流や世代間交流に重点を置いた事業を展開した。

公民館と小中学校との連携事業として、公民館文化祭での児童生徒によるミニコンサート、並びに美術作品展を開催した。また、片柳コミュニティセンターとの共催で大ホールを会場に、児童生徒による演奏会「スプリングコンサート」を開催した。

さらに、毎年秋に地区育成会が中心となって「昔のおもちゃの作り方や遊び方をお年寄りに教わりながら、遊びの楽しさとともに地域のお年寄りと中学生、小学生とのふれあいを通して世代間交流の輪を広げ、心に残るふるさと発見の機会とすることを目的」としたふるさと発見子どもまつりを開催し、公民館が協賛として企画準備等の協力や支援にあたっている。

<取組による成果>

(1) 地域伝統文化芸能の継承事業の推進

【片柳伝統文化保存会、片柳小学校、海老沼小学校、片柳中学校との共催にて実施】

お囃子体験教室は、小学校1年生から70代までの幅広い年齢層の方々が、和気あいあいと楽しい雰囲気の中で行われた。また、中学生や高校生の経験者が小学生やお年寄りをやさしくサポートする場面もあるなど、大いに世代間の交流を図ることができた。

出前講座は、各校1学年を選抜しての実施となったが、子どもたちが楽しそうに太鼓や鐘を敲いたり鳴らしたりして、地域の伝統文化に積極的に慣れ親しんでいた。そして、夏に開催された祭りでは、小中学生や幼児等、併せて400人規模の盛大なお囃子の練り歩きとなった。

(2) 地域の学校及び社会教育団体等との連携推進

地域の子どもたちが演奏するコンサートでは子どもたちが司会進行を行い、自然と拍手や手拍子が起こるなど、和やかな交流の場となった。高齢者が多くを占める公民館利用者と小中学生とのふれあいはたいへん微笑ましく、大いに地域の交流や世代間交流を図ることができた。

また、スプリングコンサートの運営全般に小中学校 PTA やおやじの会、育成会等との連携体制の中で実施することができた。さらに、本年度より地域の中学校がコンサートの運営スタッフとしてボランティアとして参加し、地域の方々との交流を深めることができた。

ふるさと発見こどもまつりでは、地域の学校や社会教育団体、自治連合会、老人クラブ協議会、社会福祉協議会、商工会、商店会など、たいへん多くの団体が参加・参画して盛り上がったことにより、その連携・協力体制の強化が図られたと実感している。

<今後の課題>

いわゆる地域づくりとは「安心して、いきいきと暮らせる住みよい地域社会を構築するため、住民が主体となって地域課題を解決していく活動や取り組み」である。そこには、地域の住民が主体となった活動や取り組みの継続性、また地域自治力(地域のリーダーや役員等を中心とした組織的な活動や取組)などが重要な要件となってくる。したがって、公民館が取り組むべき今後の課題としては、大きく下記の2点があげられると考える。

一つ目は、「地域の自治会をはじめとする地域各種団体の組織的運営に向けた支援と地域リーダーの育成」である。

このため公民館では、地域関係団体との連絡調整を密にして、事業等の連携や支援を行っていくこと。そして、団体長や中心的役員等との連絡や相談を密にし、無理のない計画づくりに向けた支援・指導、及び連携や協力等の可能性のある関係諸機関等との連絡調整など、地域の核となるリーダーへの支援や指導助言に努めていきたい。

二つ目は、「公民館における職員の組織的な支援体制の充実」である。地域各種団体との連携事業については、全職員がその内容をしっかり把握できていないということが多々ある。

月例会議など定期的な情報交換や事業内容確認の場を設けて、全職員での共通理解・共通行動による公民館運営に取り組むことで、スムーズな事業の展開やバックアップ・フォローアップの体制づくり、事務処理のチェック体制づくりを進め、風通しの良い公民館の運営に努めていきたい。

令和 5 年度 公民館ビジョン取組実績報告書兼推薦書

公民館名： 七里 公民館

取組名

【 地域 づくり】

七里公民館は、「地域づくり」を進めるために、地域の文化財の学びを通じて地域に愛着を育む講座を実施します。

取組を定めた要因や背景、地域課題、住民ニーズ等

七里地区近隣には多くの円空仏を所蔵する寺があり、地域の文化財を地域住民に広く知っていただき、その学びを通じて地域への愛着を育み、地域づくりにつなげていきたいと考えました。

令和5年度の成果・課題・住民との協働事例等

<取組んだ内容や、住民との協働事例等>

地域をよく知る市内博物館の元館長に講師を依頼し、地域理解につながるよう内容について打ち合わせを行いました。また、開催にあたり、公民館利用団体や地域団体の多くの団体に講座について丁寧に周知をするとともに、講座で取り上げる仏像等、内容についてご意見をいただき講座に反映しました。

<取組による成果>

貴重な円空仏等の映像をパワーポイントで映しながら丁寧に解説していただいたことで、地域の文化財への理解が深まるとともに地域への愛着づくりにもつながったと考えます。また、多くの公民館利用団体や地域団体に声をかけたことで多くの参加申込みにつながり定員を超えた参加人数で開催することができました。

<今後の課題>

今年度は座学中心の講座であったため、次年度以降は、地域の文化財を現地で見学する地域散策講座も開催して、実際に地域を歩くことで地域への理解や愛着を深める講座を開催していきたいと考えます。また、次年度以降は、講座内容の企画段階で地域と連携して企画できるよう、地域の歴史研究団体等に働きかけていきたいと考えます。

令和5年度 公民館ビジョン取組実績報告書兼推薦書

公民館名：春岡公民館

取組名

【つながりづくり】

春岡公民館は、地域住民のつながりの場となるため、公民館まつりを開催し、地域住民に向けて情報発信する事で、公民館活動の活性化を図ります。

取組を定めた要因や背景、地域課題、住民ニーズ等

新たに公民館活動を始めたい市民からの問い合わせが増えており、コロナ禍で中断していた春岡公民館まつりを再開し、利用団体の活動状況を発信することで、学習者と団体のマッチングを促進する必要があるため。

令和5年度の成果・課題・住民との協働事例等

<取り組んだ内容や、住民との協働事例等>

- ・公民館まつりを企画し、30を超える団体の参画を得て開催した。
- ・2日間の開催で、コロナ禍前の8割程度の来館者を得た。

<取組による成果>

- ・公民館まつり開催へ向けて、サークルの会員活動状況を調査したため、公民館職員が館内で活動しているサークルの実情を伺い知る事が出来た。
- ・各サークルの会員募集状況の聞き取りも行った結果、117団体から回答を得て、会員募集案内を再編、発行した。
- ・市民からの問い合わせに備えて、会員募集案内は毎月10部以上、備え置く事になった。

<今後の課題>

- ・公民館まつりは再開1回目との事で、実行委員会が立たなかった。より良い公民館まつりの開催には、実行委員会による準備や当日の運営も必要なものなので、今後は実行委員会の立ち上げについて準備して行きたい。

令和5年度 公民館ビジョン取組実績報告書兼推薦書

公民館名：鈴谷公民館

取組名

【つながりづくり】

鈴谷公民館は、「つながりづくり」を推進するために、公民館利用サークルや地域の学校の作品展示を通じて、地域住民との交流の場を提供します。

取組を定めた要因や背景、地域課題、住民ニーズ等

公民館を人々が集う場所とした時に、公民館で活動しているサークルや地域の学校の児童生徒が日頃の活動の成果を発表する場をつくることで、公民館を訪れる人達とのつながりを持たせられないかと考えた。

令和5年度の成果・課題・住民との協働事例等

<取り組んだ内容や、住民との協働事例等>

公民館1階ロビーにて、作品展示を実施した。

- ・4/4～4/20 文化祭参加サークル（粹洋会）作品展示
- ・11/3～11/15 与野西中学校生徒作品展示
- ・11/18～11/27 鈴谷小学校児童作品展示

<取組による成果>

・一定期間、ロビーに作品を展示することで、日頃、公民館を利用しているサークルや地元自治会の方々が足を止めて作品を見ながら感想を話されていた。また、学校の作品展については、観ていただいた方から作品に対する感想を記入してもらい、それを子供たちに届けることにより、さらなる制作意欲・学習意欲の向上に繋がったものとする。

<今後の課題>

・一度に展示できる作品数に限りがあるため、出展数が制限される。特に、学校の作品については、もっと多く展示できるようにスペースを広げたり、作品の入れ替えを行うなど検討していきたい。

令和5年度 公民館ビジョン取組実績報告書兼推薦書

公民館名： 大戸 公民館

取組名

【つながりづくり】

大戸公民館は、誰もが気軽に立ち寄れる、地域住民のつながりづくりの場となります。

取組を定めた要因や背景、地域課題、住民ニーズ等

- ・地域との関わりを持ちにくく地域の中で孤立する若い世代や高齢者が増えている。公民館を拠点として交流を図ることによりつながりづくりをする。

令和5年度の成果・課題・住民との協働事例等

<取り組んだ内容や、住民との協働事例等>

- ・児童センターと連携して1～3歳児と保護者が遊びながら交流できる子育てサロンを実施した。
- ・地域の小学校児童による絵画作品展を公民館ロビーで実施した。
- ・地域の中学校生徒による吹奏楽コンサートを実施した。

<取組による成果>

- ・子育てサロンでは子育て世代の参加者同士が交流することができた。
- ・地域の小・中学校の展示や発表を通じてつながりづくりをすることができた。

<今後の課題>

- ・地域の人材や団体と連携を図りながら、参加者の意見を取り入れることでニーズとマッチングできるつながりづくりの場を提供していくこと。

令和5年度 公民館ビジョン取組実績報告書兼推薦書

公民館名： 与野本町 公民館

取組名

【つながりづくり】

与野本町公民館は、地域住民と共に地元の歴史に触れて地域への誇りと愛着を育む学びの提供を実施します。

取組を定めた要因や背景、地域課題、住民ニーズ等

中央区のほぼ中央に位置する本町通りは、昔、市場町として栄えていたが現在、街並みが時代ともに変化しつつある。与野本町公民館は、地域の方々と共に地元の歴史に触れ、地域への誇りと愛着を育みたいと考えた。

令和5年度の成果・課題・住民との協働事例等

＜取り組んだ内容や、住民との協働事例等＞

桑の実学級での「与野本町通りの成り立ち」、「与野の伝説・民話」、伝統芸能に親しむ「浪曲・与野本町亭」の他、夏休み子ども公民館では、「与野高校生の小学生へのダンス講座」与野西中学校生徒、八王子中学校生徒による小学生への指導補助のボランティア活動、与野本町公民館まつりや児童生徒の作品展など

＜取組による成果＞

公民館講座で地元の歴史に触れ、公民館が保育園、小学校、中学校、高等学校と地域への橋渡しの事業を行うことにより、人とのつながりづくりにより、地域を再認識し、誇りと愛着を育む基礎作りとなってきた。

＜今後の課題＞

地元の歴史や伝統文化についての事業継続と、保育園、小学校、中学校、高等学校との連携事業の拡充。リフレッシュ工事期間における講座参加者の利便性を考慮した事業開催場所の工夫が必要。

令和5年度 公民館ビジョン取組実績報告書兼推薦書

公民館名：上落合公民館

取組名

【つながりづくり】

上落合公民館は、地域の人々をつなぐ情報を発信する拠点となります。

取組を定めた要因や背景、地域課題、住民ニーズ等

地域の情報を求めて公民館に来館される方に対して、区役所等からの刊行物、配布物を案内するのみで、地域について公民館独自に提供できるものがなく、地域のための施設としての役割を十分果たせていないため。

令和5年度の成果・課題・住民との協働事例等

＜取り組んだ内容や、住民との協働事例等＞

- ・四半期に一度、テーマを設定し、掲示物を作成し、関連するチラシを近くに配置し、情報がわかりやすいようにした。
- ・社会福祉協議会などに地域で行っている活動等について、資料を作成してもらい、掲示した。
- ・地域を知る講座（親子でまんじゅう作り、上落合小学校作品展示会、与野八幡小学校作品展示会）を行った。

＜取組による成果＞

- ・掲示板の前で掲示内容について話をしている利用者も多く、チラシの減りも早かった。テーマを設定したことで、公民館から伝えたい情報を住民の方に周知することができたと思う。
- ・小学校の作品展示会には、今まで公民館を利用していなかった方も多く来館し、公民館を知ってもらいきっかけ作りができたと思う。

＜今後の課題＞

- ・公民館で地域の情報を発信していること、発信したい情報があれば公民館を活用できることを地域住民に知ってもらうこと。

令和5年度 公民館ビジョン取組実績報告書兼推薦書

公民館名：下落合公民館

取組名

【つながりづくり】

下落合公民館は、誰もが気軽に立ち寄れる、地域住民の学びのつながり・人のつながりの場となります。

取組を定めた要因や背景、地域課題、住民ニーズ等

地域住民のニーズに応えるため、地域住民のコミュニケーションの場を提供し、また、主催講座情報・サークルの活動情報等をわかりやすく掲示等により発信することに努め、興味のある学びの場を通して、人と人とのつながりづくりを図る。

令和5年度の成果・課題・住民との協働事例等

＜取り組んだ内容や、住民との協働事例等＞

- ・年度内に2回地域の中学校生徒美術作品展を開催した。
- ・サークル活動に対しての窓口・電話等の問い合わせに柔軟に対応し、活動日（予約状況）をきめ細かく提供することにより、学びの場の提供及び人のつながりづくりに結び付けた。
- ・館内利用者へのあいさつを徹底し、公民館の明るい雰囲気醸成を図った。
- ・施設設備の安全点検を徹底し、利用者の安心・安全を創り出した。

＜取組による成果＞

- ・ロビーを活用した中学校生徒美術作品展の開催により、ご家族の他にも地域住民の来館を図ることができ、コミュニケーションの場を提供することができた。
- ・主催講座・サークル活動を通して、学びたい気持ち及び人と人のつながりづくりに貢献することができた。
- ・主催講座終了後、受講者同士がつながり、2つのサークルの立ち上げに成功し、新たな交流と楽しく学び続ける場の提供ができた。

＜今後の課題＞

「学びたい」「つながりたい」地域住民のニーズに応えるため、学びに必要な情報を公民館だより、区報、ホームページに加えて館内掲示で紹介していきたい。また、新たな交流の場を提供するため、公民館まつりやロビーで開催する中学校生徒美術作品展などを継続的に実施していきたい。

令和5年度 公民館ビジョン取組実績報告書兼推薦書

公民館名：田島公民館

取組名

【つながりづくり】

田島公民館は、地域の方々が「人とつながる」、「地域とつながる」ための交流の場の拠点となります。

取組を定めた要因や背景、地域課題、住民ニーズ等

- ・多世代の交流の場となっている子育てサロンや高齢者サロン等を、地域ボランティアスタッフとの協働により継続するため。（「人とつながる」）
- ・桜区役所総務課や桜図書館、レッズランド等との連携により、より多くの知識や情報を提供するとともに、地域への愛着を深めてもらうため。（「地域とつながる」）

令和5年度の成果・課題・住民との協働事例等

<取り組んだ内容や、住民との協働事例等>

- ① 図書ボランティア協働「おひさま文庫」全21回
- ② 読み聞かせボランティア協働「おはなしと工作」全7回
- ③ 子育てサロンボランティア協働「子育てサロン たーたん」全11回
- ④ 高齢者サロンボランティア協働「高齢者サロン はなみずき」全10回
- ⑤ 桜区役所総務課、桜図書館共催「桜区防災フェア」（9月2日実施）
- ⑥ レッズランド（桜区）共催「レッズランドで焼き芋体験」（3月9日実施）

<取組による成果>

- ①～④の事業は、参加者同士、スタッフと参加者との交流の場となっている。また、申込不要で気軽に参加できるため、初めて公民館を利用する方にとっては良い機会となっている。
- ⑤の事業は、プラザウエストを会場とし、桜区公民館5館・桜区役所総務課・桜図書館との共催で、消防局・水道局・桜区防災アドバイザー・県立浦和工業高校と連携しながら、防災講座、体験コーナー（起震車・給水車）、工作（ろ過装置・紙食器作り）、展示等により、延229名の参加をいただき、地域の課題解決（防災意識の向上）につなぐことができた。
- ⑦の事業は、桜区にあるレッズランドを会場とし、29組80名の参加者に桜区（さいたま市）の魅力ある施設を周知することができた。また、どの参加者からも歓声と笑顔があふれ、屋外で薪を使った焼き芋づくりは自分たちの住む地域への愛着を深める機会となった。

＜今後の課題＞

地域ボランティアとの協働事業は、田島公民館創立の翌年から27年間続くものもあり、地域に根付いた大切な事業だが、スタッフの高齢化が進み、徐々に人数も少なくなっており、今後現スタッフとの調和も考慮しながら、どのように新たなスタッフを募っていくかが課題である。

令和5年度 公民館ビジョン取組実績報告書兼推薦書

公民館名：土合公民館

取組名

【つながりづくり】

土合公民館は、地域の方々のつながりづくりの拠点となります。

取組を定めた要因や背景、地域課題、住民ニーズ等

- ・子育て世代の交流の場となっている「なかよし文庫」や地域住民の交流の場となる「春・秋の花いっぱい運動」などを継続する。（つながりづくりの場）
- ・近隣学校と連携した「ものづくり教室」などの実施や、文化祭実行委員会と連携し、地域への郷土愛を育んでもらうため。（つながりづくりの拠点）

令和5年度の成果・課題・住民との協働事例等

<取り組んだ内容や、住民との協働事例等>

- ・花いっぱい運動（春・秋）
みどりボランティアによる500株の花苗の植付け、除草、水やり
- ・高校生の地域貢献（高校生が講師となる夏休み子ども公民館・文化祭でのオープニングコンサートや巨大水道蛇口オブジェ設置の協力）
- ・集客が多数見込まれる主催講座における運営協議委員会役員による運営面への協力

<取組による成果>

- ・地域の皆様に植えて頂いた花を館内にも飾ることにより、利用者から好評を得るとともに、利用者と職員とのコミュニケーションの場が一層増えた。地域住民が継続的に花の手入れをしてくださる場面や花苗を提供していただく場面などもあり、継続的な協力作業が行われている。
- ・学校との連携では、高校生が小学生に熱心に教える姿と小学生と交流できることを楽しんでいる姿が見られ、世代間の交流が見られた。また高校生の文化祭協力を通して地域の皆様と交流する機会を作ることができた。

<今後の課題>

- ・ボランティア組織の高齢化が進んでいることが課題としてあげられる。新しいボランティアの確保、特に若い年齢層をどのように取り込んでいくのか、方法を模索する段階にある。
- ・学校との連携については、夏休み子ども公民館の際の講師との調整時期や、より魅力的な作品づくりの内容を検討する必要があると考える。

令和5年度 公民館ビジョン取組実績報告書兼推薦書

公民館名：大久保公民館

取組名

【地域づくり】

大久保公民館は、地域課題である「水害に対する防災力」を強化するための拠点となります。

取組を定めた要因や背景、地域課題、住民ニーズ等

大久保地域内には荒川・鴨川が流れており、河川氾濫時には他区への広域避難が必要になるなど、水害への備えが重要な地域であると考えているため

令和5年度の成果・課題・住民との協働事例等

<取り組んだ内容や、住民との協働事例等>

① 防災講座「災害から命を守る備え」

日時：令和5年10月20・27日の金曜日（全2回） 10時～11時30分

対象：成人の方（定員：24人）

参加延人数：25人

② 防災講座「備えて安心！ 災害時クッキング教室」

日時：令和5年10月29日（日） 10時～11時30分

対象：小学4年生から中学生（親子での参加可、定員：10人）

参加人数：11人

<取組による成果>

「災害時クッキング教室」については、青少年育成大久保地区会と打合せやリハーサルなど準備を十分行ったこともあり、充実した内容となった。地域の団体と協働して実施することは、大変有効であると感じた。

また、料理の後、防災士の方からの講話も行った。講話だけではあまり魅力はないが、料理などの楽しそうな内容を取り入れることで、定員とほぼ同数の参加を得ることができた。

<今後の課題>

中学生の参加が一人もなかったことは、引き続きの課題として残った。

成人対象の講座については、一般論的な話ではなく、大久保地域限定の話をも求めている方が多く、水害の危険性が高い地域ならではの要望であると感じた。また、講師からの一方的な講話ではなく、必要に応じてワークショップ形式での実施も検討していきたい。

令和5年度 公民館ビジョン取組実績報告書兼推薦書

公民館名： 栄和 公民館

取組名

【地域づくり】

栄和公民館は、地域を共につくり、後継者をつくり、地域文化を継承する拠点となります。

取組を定めた要因や背景、地域課題、住民ニーズ等

地域住民の高齢化と転入世帯の増加により、地域の伝統文化である櫓太鼓の後継者を育てることが急務となっている。
さらに、サークルの様々な問題を洗い出し、人数が少なくなった、指導者がいない等、これらの解決も考えていくべきである。

令和5年度の成果・課題・住民との協働事例等

＜取り組んだ内容や、住民との協働事例等＞

夏休み子ども公民館で栄和地区と道場地区から1人ずつ指導者を招聘して櫓太鼓教室を行った。
活動が難しくなったサークルに指導者の紹介を行った。

＜取組による成果＞

夏休み公民館で体験した伝統文化である櫓太鼓を、地域の夏祭りで披露することができた。
指導者を紹介した結果、2団体中1団体が活動を活性化した。
文化祭もコロナ禍前と同様にできるようになり、異世代間交流もできるようになった。

＜今後の課題＞

部屋の利用が出来さえすればいいという活動をなくし、文化祭、発表、展示会に積極的に参加してもらおうサークルを増やすことが課題である。

令和5年度 公民館ビジョン取組実績報告書兼推薦書

公民館名：大久保東公民館

取組名

【つながりづくり】

大久保東公民館は、地域の方々のつながりづくりの拠点となり、誰もが利用できる場所を提供します。

取組を定めた要因や背景、地域課題、住民ニーズ等

埼玉大学留学生をはじめ、就労や技能実習生等、地域の在住外国人は800人を超え、年々増加傾向にあります。昔から水害リスクが高く、地域の防災意識も高い。多文化共生と防災が地域の主たる課題です。具体的な学びを通して課題解決が公民館に求められています。

令和5年度の成果・課題・住民との協働事例等

＜取り組んだ内容や、住民との協働事例等＞

外国人の学びの場を作るための支援として、日本語ボランティアと共催で講座を開講しました。防災・減災の啓発活動のため防災サークルの写真展示のサポートを実施しました。児童や保護者等の居場所づくりのため、親の学習を大久保東児童センターと共催で実施しました。高齢者の居場所づくりの支援として講座の開講及び地域包括支援センターの相談サロンや、スマホ教室等をサポートした。

＜取組による成果＞

日本語ボランティア「日本語話そう大久保東ともだち」と共に、大学教授を招き講演会を開催し、ボランティアのスキルアップのみならず、「やさしい日本語」の普及につながった。防災サークルの写真展示を文化祭等で行い、地域住民に防災への関心を高めた。親の学習で、大久保東児童センターを利用している子育て世代へアプローチができた。ますます元気教室・けやき倶楽部を開講し、高齢者の交流や学びが活発に行われた。

＜今後の課題＞

外国人へのサポート、防災への取組を広げるために現状を整理し、具体的な方法を模索することが課題です。複合施設の利点を生かした事業を展開するため、連携が必要です。地域のつながりづくりを目指し、誰もが利用できる場所となることを目標にアンケート等からフィードバックしていきます。

令和5年度 公民館ビジョン取組実績報告書兼推薦書

公民館名：岸町公民館

取組名

【つながりづくり】 岸町公民館は、地域の人材や団体と協働し、誰一人取り残さない地域のつながりづくりの拠点となります。

取組を定めた要因や背景、地域課題、住民ニーズ等

・地域性として、古くからの住民と新しく入ってきた方、外国人や障害のある方など様々な方が暮らしていますが、地域に溶け込めてない方も多くいます。防災・防犯の観点からも地域の方がつながりやすく、誰もが立ち入りやすい拠点に公民館が必要があると考えました。

令和5年度の成果・課題・住民との協働事例等

＜取組んだ内容や、住民との協働事例等＞新しく地域に住み始めた方や新米パパママ、外国人や、障害のある方も地域に溶け込みやすく、つながりやすいしくみづくりに取り組みました。具体的には、「子育てぷらっとサロンスペシャル」では、従前の同講座より、対象となる子どもの年齢層を広げ夏休み期間中に開催しました。また、特別利用団体「浦和日本語ボランティアグループくすのき」の活動を夜間も含め窓口等で案内しました。「冬のスワッグ教室」では、健常者だけでなく、聴覚に障害のある方も講座に参加できるように、さいたま市社会福祉協議会地域福祉課と協働し、手話通訳者・要約筆記者を手配しました。

＜取組による成果＞「子育てぷらっとサロンスペシャル」では、開催時期を従来の「子育てぷらっとサロン」よりも参加しやすい夏休み期間中にし、参加対象年齢を広げたことで、他世代の子を持つパパママ、子ども達のより多くの「つながりづくり」ができました。また、「浦和日本語ボランティアグループくすのき」の活動に訪れる外国の方に話を聞いたところ、とても役に立っているとの意見があったので、地域の「つながりづくり」の形として、1つの成果だと考えています。最後に「冬のスワッグ教室」では、社会福祉協議会地域福祉課と手話通訳者・要約筆記者の手配等を通じて協働したことは、今後の各事業に活かせる「つながりづくり」ができました。

＜今後の課題＞子育て世代の方同士、外国人同士など同様の方同士の「つながりづくり」はできましたが、多種多様な方の地域としての相互の「つながりづくり」は、まだできていないと考えています。誰一人取り残さず、立ち入りやすい公民館としていくためには、より地域の方と公民館とのつながりを深め、いろいろな立場の人からアイデアをもらい、多世代、異なった立場の人同士の多方向に矢印が向くような「つながりづくり」を公民館が企画していくこと、またそのニーズの収集が課題と言えます。また、障害のある方については、受け入れ態勢はあっても、参加までいたらない状況であるため、もっと心に寄り添ったPR方法で、参加しやすい雰囲気づくりをすることが必要である。

令和5年度 公民館ビジョン取組実績報告書兼推薦書

公民館名：領家公民館

取組名

【地域づくり】

領家公民館は、地域のボランティアや民間団体などとの連携により、地域住民のつながりの場となります。

取組を定めた要因や背景、地域課題、住民ニーズ等

- ・子育て世代の孤立化が進み、交流する場を求めている。
- ・ひとり暮らしの高齢者や核家族が増加している傾向がみられ、介護や医療についての学びや情報提供が必要。

令和5度の成果・課題・住民との協働事例等

<取り組んだ内容や、住民との協働事例等>

- 子どもから高齢者まで、幅広い世代を支援する事業を展開した。
- ・育児ボランティアを募集して、定期的に子育てサロンを実施した。
 - ・地域包括支援センターと連携し、認知症サポーター養成講座の実施や、公民館報に定期的に地域の介護や医療に関する話をシリーズで掲載した。
 - ・さいたま市民の日にあたり、地域の自治会老人会や小学校特別支援学級等が参加して「領家公民館地域作品展」を実施した。
 - ・地域住民を対象に、地域の幼稚園・小中学校等が出演する「領家公民館地域ふれあいコンサート」を実施した。

<取組による成果>

- ・地域の育児ボランティアと連携して、子育て世代の情報交換や仲間づくりを支援することができた。
- ・地域包括支援センターとの連携により、公民館に普段足を運ばない層にも学びの機会を提供することができた。
- ・作品展やふれあいコンサートの実施により、日頃の学びの成果を発表する場を設けたことで、地域の子どもや高齢者の活躍の場ができて、地域の交流と活性化を図ることができた。

<今後の課題>

今後も地域づくりに取り組んでいくうえで、子どもから高齢者まで幅広い世代を対象にした支援事業を、地域と連携して継続・展開していく。

令和5年度 公民館ビジョン取組実績報告書兼推薦書

公民館名：浦和南公民館

取組名

【つながりづくり】

浦和南公民館は、地域住民に様々な学びの場や活動の場を提供するとともに、気軽に立ち寄れる地域の交流の場や情報発信地として、人々のつながりづくりの拠点となります。

取組を定めた要因や背景、地域課題、住民ニーズ等

昔ながらの閑静な住宅地が広がり大きな集合住宅も少ないため、地域住民は比較的高齢者が多く若年層が少ない傾向にある。公民館利用は高齢者が多く、たいへん活発であるが、子育て世代や若者の利用が少ないのが現状である。そこで、幅広い世代が利用するきっかけとなるような親しみやすい取組が必要であると考え、更に充実した学びや活動の場を提供するものである。

令和5年度の成果・課題・住民との協働事例等

<取り組んだ内容や、住民との協働事例等>

施設活用や文化、伝統を活かした事業を計画した。

◎施設活用に関する事業（管外学習）

- ・「歌舞伎鑑賞教室」/国立劇場（一般）
- ・「親子で社会科見学! ANA Blue Hangar Tour～機体工場見学～」(親子)

◎文化・伝統を活かした主な事業

- ・「和菓子作りにチャレンジ!」(一般)
- ・「みそ作り教室」(一般)
- ・「こけ園芸教室 桜の苔玉」(一般)
- ・冬休み子どもランド「書初め教室」(小学3年生～6年生)

◎地域住民の健康増進と世代間交流

- ・講座「基礎から学ぼう!ラジオ体操」の開催(2回)/一級ラジオ体操指導士
- ・「元気にラジオ体操」/令和5年6月～令和6年3月末 週2回(火・金)実施

<取組による成果>

近くにあるのに公民館を利用したことがなかった方が、回覧板で公民館だよりの講座が目にとまり、初めて参加された。以後、度々利用されるようになった事例があった。また、デイサービスに通っていた方が公民館の講座に参加され、こちらの方が楽しいとのことで、度々参加するようになった事例もあった。

<今後の課題>

若年層を含めた様々な世代が交流し、つながっていける地域を目指し、子育て世代に関心がある事業を計画に組み込んでいる。次年度は大学生対象の事業や高校、中学校と連携した事業を実施していく予定である。若い世代が気軽に立ち寄り、利用できるような取組をしていきたい。

令和5年度 公民館ビジョン取組実績報告書兼推薦書

公民館名：上木崎公民館

取組名

【つながりづくり】

上木崎公民館は、誰もが気軽に立ち寄れる、地域住民のつながりづくりの場を提供します。

取組を定めた要因や背景、地域課題、住民ニーズ等

地域のニーズに応えるため、ニーズを拾い上げ、地域や来館者とのコミュニケーションを大切にし、風通しの良い公民館として、地域と人とのつながりの輪を広げていく。

令和5年度の成果・課題・住民との協働事例等

＜取り組んだ内容や、住民との協働事例等＞

- ・地域や来館者とのあいさつや会話を大切にしました。
- ・上木崎界隈の変遷が分かるような写真を展示した。
- ・大規模改修工事で休館となり、地域の小学校、近隣の公民館や市施設の協力を得て事業を行った。

＜取組による成果＞

- ・誰もが使いやすく居心地の良い雰囲気を醸成することができた。
- ・写真を見て、サークルや自治会の方々が、足を止めて会話することが多く、コミュニケーションの場を提供することができた。
- ・事業を通して、地域と人とのつながりづくりに貢献することができた。

＜今後の課題＞

- ・利用者の高齢化が進んでいるため、情報発信の工夫や世代を超えた交流の場を提供し、来館すれば新しい視点や情報を得ることができるよう、地域と人とのつながりを育む必要がある。

令和5年度 公民館ビジョン取組実績報告書兼推薦書

公民館名：大東公民館

取組名

【つながりづくり】

大東公民館は、地域住民の学びの拠点として、人々が気軽に集い交流できるつながりの場となります。

取組を定めた要因や背景、地域課題、住民ニーズ等

利用サークルや地域住民から、身近な学びの場・交流の場としての公民館であってほしいとの要望が多数あったため。

令和5年度の成果・課題・住民との協働事例等

<取り組んだ内容や、住民との協働事例等>

- ・ICTの進化に住民が取り残されないよう情報格差の解消のため「初めてのスマートフォン体験教室」を実施した。
- ・文化祭や子育て支援講座など、地域住民が交流を図れる魅力ある事業を実施した。

<取組による成果>

- ・「初めてのスマートフォン体験教室」参加者から、もっと多くのことを学びたいという意見をいただいた。ICTに関する需要の多さを認識することができた。
- ・利用サークルや地域住民が協力し合い、文化祭を成功させたことにより、つながりを深めることに貢献することができた。

<今後の課題>

- ・どの講座も男性の参加割合が少ない。地域でのつながりを深めるため、男性の参加者を増やす工夫が必要である。
- ・参加者の高齢化と、マンネリ化が進んでいる。

公民館名：仲本公民館

取組名

【ひとづくり】

気軽にだれもが学べる機会を提供「サークル活動体験週間」

取組を定めた要因や背景、地域課題、住民ニーズ等

新規メンバー加入によるサークルの活性化や活動の継続を支援するとともに、地域住民や仲本公民館利用者等に生涯学習の機会を広く提供するため、サークル活動を体験できるサークル活動体験週間を実施します。
サークルに関する情報提供を希望者が多くいるなか、サークル側から会員募集の声もあるが、両者がなかなか結び付いていないように感じたため。

1. 既存のサークルに見学・体験等のアポイントを取るのには、見学したら入会しなければならないのでは（気軽に参加しにくい現状）？
強い参加意欲のある一部の方のみが参加しているのではないか？
2. サークル側も参加希望者に見学・体験してもらうことで、グループの雰囲気や活動内容を詳しく知ってもらうことができるうえ、見学者に日頃の活動の成果を披露する場としてモチベーション向上に繋がることも期待できる（入会者獲得と学習活動を披露する場）。
3. 入会者が増えれば、活動自体が活性化する。

もっと気軽に見学・体験する機会を提供することができれば、より多くの方に学びのきっかけづくりのお手伝いができるのではないかと考えました。

令和5年度の成果・課題・住民との協働事例等

<取り組んだ内容や、住民との協働事例等>

・団体への広報

館報10月号へ掲載するとともに利用団体へチラシを配布しました。

・体験者への広報

館報1月号へ掲載するとともに館内外へポスターを掲示しました。

参加団体数は13団体（会員数199人：システム登録内容より）、体験参加申込数は36人あり、うち9団体に延べ29人が体験参加されました。

<取組による成果>

開催期間を2週間とし、より多くのサークルが普段通りのスケジュールで活動する様子を参加者が体験できたことで、リアルなサークルの情報を提供することができました。

また、同時期に「サークル活動紹介パネル展」を開催し、体験参加サークル以外の情報についても円滑に提供することができました。

<今後の課題>

体験週間への参加者以外の方にも、詳しいサークル情報を提供できるよう、「サークル活動紹介パネル展」を活用しながら募集情報を収集していきたい。

令和5年度 公民館ビジョン取組実績報告書兼推薦書

公民館名：針ヶ谷公民館

取組名

【地域づくり】

針ヶ谷公民館は、地域に即した学びの場として、地域の誰もがいつでも気軽に快適に学ぶことができる環境を提供する公民館を目指します。

取組を定めた要因や背景、地域課題、住民ニーズ等

針ヶ谷公民館と地域の距離感が非常に近く、地域住民はあらゆる年齢層において、学びの意欲が高く公民館への期待度も高い。世代に応じたきめ細かく柔軟な事業企画と公民館運営、および先進的で質の高い学びの提供が求められている。

令和 度の成果・課題・住民との協働事例等

<取り組んだ内容や、住民との協働事例等>

- ・子育て世代向けに月齢別親子参加、複合型プログラムによる通年親子体験型学級「針ヶ谷ベビーカレッジ」を実施。
- ・地域の方による「新・我がふるさと針ヶ谷」の公民館報への寄稿。
- ・地域在住の各分野の専門家や針ヶ谷公民館利用団体を講師に招いての公民館主催事業を企画「針ヶ谷ベーカーリー夏のパン教室」「針ヶ谷ウインタースクール将棋教室」「針ヶ谷キッズ～油絵入門講座」を実施。

<取組による成果>

- ・子育て世代や親子参加型講座の積極的な実施により、こどもや若い年齢層、学童期の保護者の来館が増加した。
- ・公民館報を介しての地域へ積極的に情報発信を行うことにより、地域間・住民間でのコミュニケーションの円滑化、連携強化に繋がった。
- ・地域在住の専門家や針ヶ谷公民館利用団体へ講師を依頼しての主催事業実施により、地域住民間の距離が縮まり、地域の世代間交流にも繋がった。

<今後の課題>

- ・子育て世代への継続的な「居場所」「学び」「育ちの場所」の提供。
- ・高齢者向けICT講座・リテラシー向上の継続提供。
- ・「質の高い学び」「魅力ある学び」の提供に向けて、主催事業や講座企画のブラッシュアップ及び職員の知識・スキルの向上。

令和5年度 公民館ビジョン取組実績報告書兼推薦書

公民館名：本太公民館

取組名

【地域づくり】

地域人材・本太公民館利用団体と協力し、地域を共につくり、地域をつなぐ拠点となります。

取組を定めた要因や背景、地域課題、住民ニーズ等

本太公民館は、住宅街にあり子どもから大人まであらゆる年代の地域住民が交流を図りながら公民館で学んでいる。多数の住民が居住する地域において、地域住民に交流と学びの提供を作るためには、地域の人材を活用し、本太公民館利用団体の方に講師を依頼、地域在住の人材を生かす場を提供することを目的に取り組みました。

令和5年度の成果・課題・住民との協働事例等

<取り組んだ内容や、住民との協働事例等>

- ・令和5年8月3日・夏休み子供公民館／卵の殻のモザイクアート
講師、本太登録団体（ぶんぶん文庫）により講座を実施。
- ・令和5年8月4日・夏休み子供公民館／親子で埼玉県産ヒノキ椅子を作ろう
講師、地域人材（木の博物館 木力館 館長）により講座を実施
- ・令和5年11月11日・13日・・・「孔版画」で年賀状作り
講師、本太登録団体（本太孔版クラブ）により講座を実施。

<取組による成果>

講師と交流し地域とのつながりを深めている様子があり、人づくりに大きく貢献している。また、講座の受講同士で交流する様子が確認出来ました。
地域の団体との連携強化が図れた。

<今後の課題>

・満足度高い講座を実施していくためには、より良い人材の確保が最重要である。登録団体の講師が高齢化しており、今後の講師の依頼が難しくなっている側面がある。新たな人材をどう増やしていくか検討する必要がある。

令和5年度 公民館ビジョン取組実績報告書兼推薦書

公民館名：仲町公民館

取組名

【つながりづくり】

仲町公民館は、誰もが気軽に立ち寄れる、地域住民のつながりの場となります。

取組を定めた要因や背景、地域課題、住民ニーズ等

仲町公民館が所在する地域は、昔からの住宅地が広がる中、近年は利便性の高さからマンションが続々と建築され新たな住民が急増している。そうした中、地域住民の交流を高める講座や事業が求められているため。

令和5年度の成果・課題・住民との協働事例等

＜取り組んだ内容や、住民との協働事例等＞

高齢者学級においては、単に聴講するだけでなく、企画や運営にも加わってもらい、コミュニケーションを深めながら事業を展開できるようにしている。

小学生向け事業（卓球）においても、近隣住民にボランティア指導をお願いするなど、地域との連携を深めながら実施している。

＜取組による成果＞

高齢者学級においては、参加者が運営にも携わっていることから、多くの参加者において自然とコミュニケーションが生まれる場となっている。

小学生向け事業においても、児童と地域ボランティアとの交流が深まっているためか、参加者のリピーターも着実に増えていることを感じる。

＜今後の課題＞

高齢者や子ども関係の「つながりづくり」にはある程度の成果を感じているが、成年層（特に若者）の公民館への参加が少なく、各年代層の参加という点に関しては難しさを感じている。

ただし、様々な知識や技術を持つ方が多い地域ではあるので、他の地域団体等と連携して人材の発掘を進め、地域コミュニティを醸成していければと考える。

令和5年度 公民館ビジョン取組実績報告書兼推薦書

公民館名：常盤公民館

取組名

【地域づくり】

「子どもまんなか常盤公民館」

取組を定めた要因や背景、地域課題、住民ニーズ等

「こども基本法」が令和4年に成立。
次代の社会を担う子ども達の「学校でもない」「家庭でもない」子どもたちの第3の居場所づくりにより、子ども政策推進の一翼を地域から担う。

令和5度の成果・課題・住民との協働事例等

<取り組んだ内容や、住民との協働事例等>

- ・公民館活動45周年を迎える「ともだち文庫」との年36回の事業
- ・47周年を迎える「北浦和阿呆連」との共同事業の開催（※）
- ・サマースクール8コース開催（星座、クッキー作り、こけ玉作り、ドッチビー、科学工作、折り紙、囲碁教室、科学教室 7/25～8/25）
- ・子どもまんなか常盤公民館 ver. 1 「親子体験型プログラムキッズマネースクール」12/25
- ・子どもまんなか常盤公民館 ver. 2 「のびのびチア教室」12/26
- ・子どもまんなか常盤公民館 ver. 3 「化石で探検・150万年前の海」12/26
- ・子どもまんなか常盤公民館 ver. 4 「踊らにやそん！阿波踊り体験教室」2/3※
- ・子どもまんなか常盤公民館 ver. 5 「子どもまんなか音楽会」3/20 予定
- ・「非日常における芸術の力」ウクライナの子どもの作品を通して 3/1 予定
- ・ときわ あーと・ART・アート（常盤小学校特別支援学級児童の作品、6年生児童の共同制作作品及び常盤中学校特別支援学級生徒の作品を展示）2/21～2/25
- ・花サークルの小学生による公民館ロビー生け花の定期的な展示等

<取組による成果>

- ・上記取組の成果として、ロビーで読書や宿題や待合せをする子ども達が日々見られ、ロビーが居場所となっています。また子どもの利用割合が増え、日々子ども達の笑い声の響く公民館となっています。
- ・「ともだち文庫」は、30代世代のボランティアが増員。「世代循環型」の公民館づくりを進めています。※本年、ともだち文庫は「ニッセイ財団『生き生きシニア活動顕彰』」受賞
- ・三世代60人以上が活躍する北浦和阿呆連との講座により、子ども達が地域を愛し、地域の活性化に携わるという「仕組みづくり」を公民館が担っています。
- ・「子どもまんなか音楽会」では、子ども達のボランティアがたくさん参加し、公民館運営に携わる予定です。

<今後の課題>

- ・地域課題に対応して「不登校の居場所づくり」を地域公民館利用者と検討中であるが、人手や場所等の課題が多く、検討を重ねている。

令和5年度 公民館ビジョン取組実績報告書兼推薦書

公民館名：北浦和公民館

取組名

【人づくり】

誰もが使いやすく、明るく、居心地の良い学び場づくり

取組を定めた要因や背景、地域課題、住民ニーズ等

- ・ 隣近所とのつきあいを好まない人の増加
- ・ 身近な話し相手が必要となる高齢者のひとり暮らしの増加
- ・ 慣れない土地で、様々な悩みをなかなか相談できない新しい住民の増加

令和5年度の成果・課題・住民との協働事例等

＜取り組んだ内容や、住民との協働事例等＞

趣味や興味の幅を広げてもらいより豊かな生活を送ってもらうために、様々なジャンルから講師を招聘し、高齢者学級「友遊塾」を開催した。（前期・後期 各6回ずつ計12回開催）

＜取組による成果＞

これまでの参加者の意向を尊重し様々な分野から講師を招聘したことで、受講者の趣味や興味の幅が広がるような多彩な講座を実施することができた。講座の出席率の高さからも満足度の高さを感じられた。

＜今後の課題＞

若い世代の方も参加をしたくなるような魅力ある講座を企画し、高齢者層だけでなく若年層も含めたすべての世代が集う場となるような取り組みをしていきたい。

令和5年度 公民館ビジョン取組実績報告書兼推薦書

公民館名：南箇公民館

取組名

【つながりづくり】

南箇公民館は、明るく、居心地の良い学びの場を目指し、地域の皆さんが気軽に立ち寄れるつながりの場となります。

取組を定めた要因や背景、地域課題、住民ニーズ等

南箇公民館地域は、住宅街で公園も少ないことから、年代を問わず気軽に立ち寄れる場を目指す。

令和5年度の成果・課題・住民との協働事例等

＜取り組んだ内容や、住民との協働事例等＞

- ・乳幼児と保護者の交流の場として、子育てサロンを新規の通年事業として実施し仲間づくりを支援した。
- ・地域ボランティアの皆さんや木崎中学校の生徒と共に、駐車場のプランターと花壇の植え替えをした。
- ・ロビーを利用してミニギャラリー展を開催し、地域の方や公民館活動サークルの作品を展示した。

＜取組による成果＞

- ・子育てサロンを年8回実施し、親子のつながりの場を提供できた。
- ・生け花クラブによる季節ごとの装飾も見事で、館内や駐車場のお花を楽しみに来館する方が多数いた。
- ・ミニギャラリー展では個人によるつるし雛やサークルの作品展示を開催し利用者や地域の方々が鑑賞し賑わった。

＜今後の課題＞

- ・花の植え替えや子育てサロンを手伝ってくださる地域のボランティアが減ってきている。
- ・ミニギャラリー展の参加団体を増やし、年間通してミニギャラリーを開催したい。

令和5年度 公民館ビジョン取組実績報告書

公民館名： 文蔵 公民館

取組名

【 人 づくり】

文蔵公民館は、だれもが気軽に立ち寄れる「地域住民の交流の場・学びの場」を提供します。

取組を定めた要因や背景、地域課題、住民ニーズ等

▶ あらゆる世代の方々への学びの場の提供

情報端末機器により、情報収集や経済活動または発信することが求められる社会になりつつある中で、あらゆる世代の方々々がネット社会に適応できるようIT事業の充実を図ります。子供向けに『プログラミング教室』、シニア向けに『スマホ教室〈入門編〉〈LINE編〉〈決済編〉』を実施します。

令和5年度の成果・課題・住民との協働事例等

<取り組んだ内容や、住民との協働事例等>

- ・シニア向けの『スマホ教室（秋）』はソフトバンクの協力のもと、〈入門編〉と〈LINE編〉の内容で実施した。（23人申込・22人参加）2月の『スマホ教室（冬）』では、〈LINE編〉、〈決済編〉を実施予定。
- ・子供向けの『プログラミング教室』は、親子でタブレットを使って、プログラミングやアプリを作成した。（24組申込・10組参加）

<取組による成果>

- ・『スマホ教室（秋）』では、講師のソフトバンクより貸出された1人1台端末での操作で、基礎からしっかりと学ぶことができた。参加者からは、継続的に学習したい、自分の機種で体験したい、といった声もあった。
- ・子供向けの『プログラミング教室』は申込多数で抽選になるほどで、関心が高く、参加者からはまた実施してほしいという声があった。

<今後の課題>

- ・『スマホ教室（秋）』については、入門編の申込者が定員を下回った。公民館を利用する方のニーズを踏まえて、今後はより実践的な内容の講座を企画したい。また、スマホの使い方をより定着させるために、自分の端末を操作できるようなプログラムも検討していく。
- ・子供向け『プログラミング教室』は、非常に満足度が高く、継続して実施するために、同様の内容で開催できる講師を探したい。

令和5年度 公民館ビジョン取組実績報告書兼推薦書

公民館名： 南浦和 公民館

取組名

【 人 づくり】

南浦和公民館は、地域の人々の学びのきっかけとなる場となり、様々な学びを提供する拠点となります。

取組を定めた要因や背景、地域課題、住民ニーズ等

▶生涯学習としての場の提供

公民館は生涯学習の場として社会教育をサービスする公的機関である。本公民館の講座への参加は乳幼児から高齢者まで幅広い世代がサークル活動で利用したり、公民館講座を受講したりしている。そこで今年も、あらゆる世代の知的好奇心を揺さぶる講座を複数開設し、幅広い社会教育の場としての役割を担いたい。

令和5年度の成果・課題・住民との協働事例等

<取り組んだ内容や、住民との協働事例等>

- ・夏休みに小学生向けに地域で社会教育に従事している方を講師として招き、プラネタリウム講座や水彩画講座を実施した。
- ・幅広い教養の場としての提供として、古典文学講座、手話講座、ショートフィルム製作講座を実施した。
- ・地域で活動している食生活改善推進員協議会と協力して、地域の方の食生活改善を図る調理実習を実施した。

<取組による成果>

子ども向けの講座以外は参加者数が定員を下回っている。ただ、公民館の生涯学習の場として役割を考えると、人数にとらわれることなく、興味関心がある人のニーズにこたえることも必要だと考える。
なお、作成したショートフィルムは令和5年度 SAITAMA なんとか映画祭において特別上映されることが決まった。

<今後の課題>

知的好奇心を揺さぶる講座を開設していくための講師の確保が最重要と考える。また、参加者が一人でも多く参加できるように広報の仕方を工夫したい。

令和5年度 公民館ビジョン取組実績報告書兼推薦書

公民館名： 谷田 公民館

取組名

【つながりづくり】

谷田公民館は、地域住民が交流するための場を提供します。

取組を定めた要因や背景、地域課題、住民ニーズ等

・古くからある公民館であり、地域の中心的な存在である。昔からの住民も多く親しまれている一方で、この地域も高齢化の波を受けていることを鑑み地域住民の交流が必要ではないかと考える。

令和5年度の成果・課題・住民との協働事例等

<取り組んだ内容や、住民との協働事例等>

・まつり実行委員会と連携し、地域住民の交流を目的として、コロナ禍前は毎年実施していた「春のまつり」・「秋のまつり」を四年ぶりに実施した。
・お手伝いとして小学校高学年の児童を対象にボランティアを募ったところ、大勢の児童から応募があった。

<取組による成果>

・久しぶりの開催となるため、果たしてどれくらい来場してくれるだろうかと少し不安もあったが、大勢の家族連れが来場し盛況であった。
・実行委員会が中心となりながら、子どもボランティアにも活躍の場があり、子どもたちはまつりを楽しむだけでなく仕事をして貢献するという体験ができ、良い学びとなったのではないかと思います。

<今後の課題>

・実行委員会の構成メンバーが高齢化しており、今後の継続がだんだん難しくなっている側面がある。ボランティアとして参加している子どもの保護者を始めとした大人のボランティアを募るなど、新たな担い手をどう増やしていくか検討する必要がある。

令和5年度 公民館ビジョン取組実績報告書兼推薦書

公民館名：六辻公民館

取組名

【つながりづくり】

六辻公民館は、だれもが気軽に立ち寄れる「地域住民の交流の場・学びの場を提供します」。

取組を定めた要因や背景、地域課題、住民ニーズ等

子育て世代や高齢者など、多世代の住民が居住する住宅地に当館は立地している。多数の住民が居住する地域において、新たなつながりや地域の担い手を作るためには、地域住民に交流の場を提供することが有用であると考えた。

令和5年度の成果・課題・住民との協働事例等

<取り組んだ内容や、住民との協働事例等>

事業名：おはなしのへや（乳幼児と保護者対象の読み聞かせ等の講座）

講師：おはなしグループ「ののはな」

実施時期：令和5年4月～令和6年3月

事業名：夏休み子ども公民館（箸置き製作）

講師：根岸三丁目自治会長

実施時期：令和5年8月

事業名：冬の子ども公民館（卓球教室）

講師：ひまわり（卓球サークル）会員

実施時期：令和6年1月

事業名：六辻子どもジャンボかるた大会

講師：まちづくりヒマワリ会

実施時期：令和6年1月

<取組による成果>

講座の受講者同士で交流する様子や、講師と交流し地域とのつながりを深めている様子が確認された。

<今後の課題>

より幅広い地域の方々に参加頂くためには、多様な事業を企画する必要がある。

令和5年度 公民館ビジョン取組実績報告書兼推薦書

公民館名： 西浦和 公民館

取組名

【つながりづくり】

西浦和公民館は、地域団体との連携・協働を推進し、人や地域のつながりづくりをコーディネートします。

取組を定めた要因や背景、地域課題、住民ニーズ等

西浦和地区社会福祉協議会との連携により、ふれあい会食の前座として落語会を行い、参加者の方に楽しんでいただくとともに地域の方のコミュニケーションづくりの一助とする。また、地域の小学生を対象とした夏休み子ども公民館事業に内谷中学校の中学生が関わることにより、地域でのつながりを深めるとともに、ボランティア活動の啓発を図ることを目的とする。

令和5年度の成果・課題・住民との協働事例等

＜取り組んだ内容や、住民との協働事例等＞

事業名：高齢者が楽しむ落語会

協働先：西浦和地区社会福祉協議会

取組内容：単身高齢者への案内、募集、受付、ふれあい会食の準備、運営

実施時期：令和5年5月

事業名：夏休み子ども公民館（科学教室・絵画教室）

協働先：内谷中学校（科学部生徒、美術部生徒）ボランティア

取組内容：講座の受付、小学生の学習活動の支援、講師のお手伝い、会場設
営・片付

実施時期：令和5年7月

＜取組による成果＞

社会福祉協議会との連携では、役割分担が明確になっていたためスムーズに会を催すことが出来た。杖の方も来館されていたが民生児童委員の方が体育室入り口まで案内して下さり、安全面にも配慮して実施できた。

中学生ボランティアの方々は、講座に真剣に取り組み、児童の面倒をよく見てくれた。

＜今後の課題＞

「高齢者が楽しむ落語会」では、参加した高齢者へのアンケートが時間的な制約や参加者への負担から実施できなかった。

「夏休み子ども公民館」では、講師との打ち合わせの時間が十分に取れなかったため、講師からボランティアの生徒に何をやってもらうか、あまり明確になっていなかった。今後は少し時間を取りたい。

令和5年度 公民館ビジョン取組実績報告書兼推薦書

公民館名： 別所 公民館

取組名

【人づくり】

別所公民館は、「地域住民の交流の場」、「学習コミュニティ」としてのネットワークを構築し地域人材を活用することを通して人づくりを推進していきます。

取組を定めた要因や背景、地域課題、住民ニーズ等

別所公民館の周りには、遺跡や民話等、古くから伝わる言い伝えが残されており、地域の歴史に愛着と誇りを持たれている方が多い。一方、他地域から転入された振興住民も増えており、地域の歴史に興味・関心を持たれている方も多。また高齢化が進み、一人暮らしの家庭が多くなっている。その多くは、健康志向が高く健康講座や健康体操サークルへの参加も多くなっている。そこで地域人材を活用することにより、地域の歴史を通じた学習コミュニティとしての場づくり、出会いの場としての公民館で人づくりを取組目標と定めた。

令和5年度の成果・課題・住民との協働事例等

＜取り組んだ内容や、住民との協働事例等＞

令和5年度は、地域との愛着と誇りを大切に育むため地域歴史講座で講師として招聘している杉浦健治先生に「別所の歴史」を古代から昭和初期までの歴史のみどころについてご講演いただいた。現在、その参会者や歴遊会（サークル）に呼びかけて、①別所の歴史探偵団（ボランティア）の創設 ②別所の歴史コーナーの設置 ③別所歴史サロンの開設に向けて準備している。また健康づくりの一環として、地域の方々主体となり朝8時35分より朝のラジオ体操を実施している。参加者は、10名程度であるが、ポスター、公民館だよりやホームページ等に掲載して積極的にアピールしていきたい。

＜取組による成果＞

地域歴史講座のアンケートから「自分たちが住んでいる地元の歴史」をもっと知りたいと参加者の興味・関心度は、高い。地元の歴史を知る取組から人とのつながり、出会いを期待するという声は多く、成果があがっているものと確信している。また朝のラジオ体操は、年末年始の閉庁日、休館日、夏休み以外は、ほぼ毎回実施しており、地域住民の健康づくり、人づくりに大きく貢献している。

＜今後の課題＞

今後は、地域プロジェクトを立ち上げるとともに、①別所の歴史探偵団（ボランティア）の創設 ②別所の歴史コーナーの設置 ③別所歴史サロンの開設に向けて準備を進める。また、朝のラジオ体操は、さらに多くの参加者を募るべく、ポスター、公民館だよりやホームページ等に掲載するだけにとどまらず学校やサークルとも連携して参加者を増やしていきたい。

令和5年度 公民館ビジョン取組実績報告書兼推薦書

公民館名：東浦和公民館

取組名

【つながりづくり】

東浦和公民館は、地域の子どもから高齢者まで多世代が気軽に集い、交流できる学びの場を提供します。

取組を定めた要因や背景、地域課題、住民ニーズ等

コロナ禍により地域住民の関係が希薄になり、多世代の交流機会が少なくなっていたため、イベントをとおして地域住民が多世代で楽しみ、共に学び、交流を深められる場を提供する。

令和5年度の成果・課題・住民との協働事例等

<取り組んだ内容や、住民との協働事例等>

- ①令和5年 4月29日（土）・・・フローカーリングを体験してみよう！
幼児から高齢者を4人1組にして、フローカーリングを開催
- ②令和5年10月 7日（土）・・・東浦和地区文化祭
地域団体と中学生による芸能発表会、地域ボランティア団体による子どもまつりの開催など
- ③令和5年12月16日（土）・・・2023 Xmas ふれあいコンサート
赤ちゃんから高齢者まで多くの方が集う、クリスマスコンサートを開催

<取組による成果>

家族で参加したり、地域の中学生在がボランティアとして参加したり、小・中学生から高齢者まで幅広い年齢層がイベントに集い、新たな交流を生むことができた。

<今後の課題>

予想以上に子どもたちの申込みが多く、地域住民のイベント後の感想も好評であったことから、令和6年度も継続して実施することとした。今後も地域住民が共に学び、交流を深める場の提供を行いたい。

令和5年度 公民館ビジョン取組実績報告書

公民館名： 善前 公民館

取組名

【 人 づくり】

善前公民館は、市民ニーズや現代的課題の解決に対応した多様な学習機会を提供します。

取組を定めた要因や背景、地域課題、住民ニーズ等

日頃、ご高齢の方を中心にスマホやタブレット端末を使用した予約方法についての問合せが多いことや当館ホームページの閲覧数が少ないことから、ICT利用が少なく苦手と感じている方が多いと実感していた。

前年度行ったスマホ講座は単発講座であったため、もう少し長い時間をかけて習いたかったとの声が多かった。また、スマホをまだ持っていない方も参加されており、ガラケーのサービス終了（AUは終了、SBは2024年4月、ドコモ2026年3月）も迫っているため、初心者向けスマホ講座の回数を3回に増やして行うことにした。

令和5年度の成果・課題・住民との協働事例等

<取り組んだ内容や、住民との協働事例等>

- ・ソフトバンクの協力のもと、基本操作、カメラ機能、地図、乗換案内、写真、Line、電子決済を中心に3回講座を実施。前年度文字入力に苦慮されている方が多かったことから2回目3回目は前回の復習で同じ操作を30分程度行った。（25人申込 19人受講）
- ・当館ホームページの2次元コードを印刷したカードを配付し、ホームページを紹介し、体験していただいた。
- ・受講後のフォロー わからないことをいつでも問合せができるように、連絡窓口の資料、ソフトバンク店舗（南浦和・中尾）で行っている無料講座一覧資料も提供した。

<取組による成果>

多くの申込があり、デモ機の数で人数制限が必要であったが、スマホについて学びたいニーズが顕在化した。

3回講座にし、各回復習を行いながら学ぶことでスマホの基本操作が定着できた。アンケートでは回数について適当と全員が回答。また、分かりやすかったとの声が多かった。

<今後の課題>

スマホは日常的に使用することで慣れ、知識や操作が定着していくものがあり、講座はきっかけづくりに過ぎない。フォローアップをどのようにしていくのが重要である。今回、ソフトバンクにフォロー講座の申込受付も同時に行ったが参加するのは実績で10%程度であるとのことである。

個人的なレベルでちょっとした相談を気軽にできる窓口が必要だと思う。

令和5年度 公民館ビジョン取組実績報告書兼推薦書

公民館名： 大古里 公民館

取組名

【つながりづくり】

大古里公民館は、誰もが気軽に立ち寄れる、地域住民のつながりの場となります。

取組を定めた要因や背景、地域課題、住民ニーズ等

緑区にもまたがる「見沼たんぼ」で生産される里いもは、全国的にも有名である。見沼たんぼについてより深く知り、見沼たんぼで育った里いも掘を家族で楽しむことを通して地域のつながりを深めると考えた。

令和5年度の成果・課題・住民との協働事例等

<取り組んだ内容や、住民との協働事例等>

大古里公民館で文庫活動をしているみむろ文庫の皆さんによる紙芝居「見沼の竜」、地域の方が作られた「みむろのむかし」。見沼田圃政策推進課作成のDVD「見沼たんぼの魅力を発見しよう！」の視聴。さいたま市農業委員会会長による講話を1部とし、2部では見沼たんぼの畑で里いも掘を行った。また、後日ロビーでDVDを上映して誰もが視聴できるようにした。

<取組による成果>

1部、2部の参加者は89人。後日のロビーでの視聴は180人であった。里いも掘だけに参加したいという声が多かったが、1部に参加された方は見沼たんぼの歴史や現状が知れて良かったという感想が多く好評であった。見沼たんぼでの里いも掘で、農家さんと参加者のつながり、また、参加者同士のふれあい、後日ロビーでのDVD視聴では来館された方々で語らう様子も見られた。

<今後の課題>

まだまだ自然が多く残る地域の良さを生かす講座を今後も大切にするとともに、郷土の歴史や文化にも親しめるような講座を企画して、つながりづくりができれば良いと考える。また、地域で活躍されている方を発掘して、地域の方とのつながりづくりができれば良いと考える。

令和5年度 公民館ビジョン取組実績報告書兼推薦書

公民館名：三室公民館

取組名

【つながりづくり】

三室公民館は、誰もが気軽に立ち寄れる、地域住民のつながりの場となります。

取組を定めた要因や背景、地域課題、住民ニーズ等

地域住民が気軽に三室公民館に立ち寄れるように、公民館のロビーを地域のサークルや小中学生の芸術作品を展示する展示会場に模様替えした。

令和5年度の成果・課題・住民との協働事例等

＜取り組んだ内容や、住民との協働事例等＞

今年度は昨年好評だった特別支援学校の生徒の芸術作品の展示期間を伸ばし、さらに、三室の歴史写真展やSDGs情報等、新たな展示も企画した。

＜取組による成果＞

地域住民が気軽に立ち寄って学びを楽しんでいただき、そこに集まった人同士で自然と会話が生まれた。また、特別支援学校の生徒の芸術作品が特に充実しており、作品を通して、特別支援学校内での生徒の活動を地域住民に知っていただくことができた。

＜今後の課題＞

SDGs展示の規模がまだまだ小さく集まりづらかったので、例えば、資源循環政策課と協力して、古着回収ボックスを設置し、SDGsについて学べるだけでなく、公民館でSDGsの活動ができるような工夫を取り入れていきたい。

令和5年度 公民館ビジョン取組実績報告書兼推薦書

公民館名：尾間木公民館

取組名

【つながりづくり】

尾間木公民館は、誰もが気軽に立ち寄れる、地域住民のつながりの場となります。

取組を定めた要因や背景、地域課題、住民ニーズ等

地域は、これまで何世代にも渡ってこの地域に住み続けられてきた世帯がある反面、急激な宅地化の進展により転居されてきた新たな世帯も多い。そのため、世帯数は年々増え続け、地域性も新旧の世帯によって二極化しつつある。そこで、多種多様な講座の充実とともに、気軽に立ち寄れる展示や小・中学校の児童生徒による作品展、子育て世代を対象とした隣接する尾間木児童センターとの共催事業等の充実を図っていくことが必要となっている。

令和5年度の成果・課題・住民との協働事例等

＜取り組んだ内容や、住民との協働事例等＞

- ・尾間木地区6小・中学校の保護者を対象とした「家庭教育学級」を開催。校長先生による子育てにおける家庭と学校のそれぞれの役割を中心とした内容で実施。
- ・誰もが気軽に立ち寄ることができる地域交流スペースを使用して、さいたま市民の日記念「見沼通船堀展」、尾間木地区6小・中学校の児童生徒による作品展、緑区特別支援教育作品展を実施。また、登録団体による「ミニギャラリー展」を実施。
- ・尾間木児童センターとの共催事業として、読み聴かせボランティアによる「ひだまり文庫」を月例実施する外、「おまぎサマーフェスティバル」、「子ども映画会」、「ファミリーコンサート」、「あそびのひろば」など子育て世帯に視点をあてた事業を実施。

＜取組による成果＞

- ・「家庭教育学級」での校長先生による講話は、学校の視点、家庭の視点、双方の立場から構成されており、また参加者同士のグループワークもありお互いを理解し合いながら講座を進めることができた。また、本年度は関係小中学校の学校運営協議会委員の参加により地域の視点からの意見もいただくことができた。
- ・地域交流スペースを使用した展示では、公民館での活動を目的に来館した方、児童センターを利用した方、気軽に立ち寄られた方など多くの方が足を止めて観覧する姿があった。特に小・中学校児童生徒作品展や緑区特別支援教育作品展は、地域の方に学校活動の様子を知っていただく良い機会となっている。また、登録団体による「ミニギャラリー展」は登録団体にとって活動の励みとなり、地域住民へ公民館登録団体の活動内容を知っていただく良い機会となっている。
- ・子育て世帯に視点をあてた事業では、尾間木児童センターと共催で開催することで、毎回多くの親子に参加していただくことができた。

＜今後の課題＞

新旧様々な世帯で構成される地域のため、すべての方々に満足のいく事業を実施していくには難しい面が多い。しかし、地域住民のつながりの場として、誰もが気軽に立ち寄れる尾間木公民館の存在を地域の方に知ってもらうため、リピーターだけではなく新たな層にも届く事業が必要と考える。また、子育て世代には、隣接する尾間木児童センターとの連携による共催事業等で、それぞれの施設の特徴や利点を生かした事業展開を進めていく必要があると考える。

令和5年度 公民館ビジョン取組実績報告書兼推薦書

公民館名： 原山 公民館

取組名

【つながりづくり】

原山公民館は、誰もが気軽に立ち寄れる、地域住民のつながりの場となります。

取組を定めた要因や背景、地域課題、住民ニーズ等

多様な学習機会の提供・幅広い年齢層を対象とした事業の実施により住民の交流をはかるため。

令和5年度の成果・課題・住民との協働事例等

＜取り組んだ内容や、住民との協働事例等＞

乳幼児に対する読み聞かせ、児童が参加する子ども公民館、成人を対象とした歴史講座、シニアに対する地域包括支援センター職員による講座などを実施した。また、地域の様々な世代の方の交流促進及び公民館利用者等の学習成果を発表する原山地区文化祭を開催した。

＜取組による成果＞

公民館主催講座においては、講座後のアンケートによると参加者の満足度が高かった。また原山地区文化祭では作品の制作者・ステージ等での発表者と来館者との交流の様子が数多くみられた。

＜今後の課題＞

今年度は様々な世代のICT対応講座として、児童に対するプログラミング教室、成人に対するスマホ講座、高齢者に対する自分のスマホを使って参加する講座を行った。講座自体の満足度は高かったが、講座の回数を増やしてほしいとの声もあった。また、コーヒーの知識や淹れ方などを学ぶ珈琲講座では、あえて定員を少人数に絞り開催した。その結果、実技では自分の番ではない時も抽出方法をグループ内で一緒に確認しあうなど、受講者同士が積極的に関わり一体感がうまれた講座になった。地域のつながりづくりを深めていくためにも、様々な事業を継続していくことが大切であると感じた。

令和5年度 公民館ビジョン取組実績報告書兼推薦書

公民館名：美園公民館

取組名

【地域づくり】

流入新住民と子ども人口急増が美園地区の課題である、新住民と旧地域住民とのつながりが薄く、各種インフラ整備が追いつかない現況のなか、住民間の接点の繋がり場として、公民館の果たす諸活動故郷づくり「地域づくり」が果たす役割は大きいです。

取組を定めた要因や背景、地域課題、住民ニーズ等

美園地区は、駅周辺に高層マンション群が立ち、人口増加が著しいエリアになります。児童数の大幅増加と、自宅マンションと学校だけを毎日往復する子どもたちが多く、コミュニケーション活性化を図った地域づくりは不可欠な状況下にあります。子ども達はここ美園が「ふるさと」になります。

令和5年度の成果・課題・住民との協働事例等

＜取り組んだ内容や、住民との協働事例等＞

毎月のように、各種講座を開催。「書初め教室」に始まり、地域住民ボランティアによる「おもちゃ診療所、昔あそび、夏休み子ども公民館（9日間）」、「プログラミング教室」「親子サッカー教室」等々、特に「畑であそぼ！」は収穫した筍を具材にした“たけのこご飯・味噌汁”里芋を使った“けんちん汁・芋煮”や年末の大根収穫と餅つき“^{からみもち}辛味餅”の食事等、これらは昔からあるこの地域の伝統の味であり、子どもたちが成長後、故郷の味として心に残るよう講座企画になりました。また、地域の方の協力による「昔あそび」や、地元浦和学院高校生による、各講座ボランティア諸活動協力など、地域資源をフル活用での“地域づくり”活性化を主催講座にして実施しました。

＜取組による成果＞

講座を通して、交流地域の伝統文化を楽しく学び、味わい、知り、ここは素晴らしい地域（街）と理解の一助になったと思います。マンションに住む家族4～5人全員参加が何よりです。高齢者を含め、新住民揃って“さいたまファン”になり、地域住民のやさしさや、温かさに触れる事ができた各講座となりました。親子揃って地域に溶け込んで来ました。

＜今後の課題＞

子どもが多い地域だけに、夏休み子ども公民館や畑であそぼ！などは参加競争率が非常に高い。これらを緩和する内容（日程・人数・参加数等）を考慮した講座にしていく必要があります。祖父母の参加希望も多く家族構成数が急に増え、対応に苦慮しています。新住民高齢者の公民館活動への誘いが必要です。

令和5年度 公民館ビジョン取組実績報告書兼推薦書

公民館名：岩槻本丸公民館

取組名

【地域づくり】

岩槻本丸公民館は、安全安心な地域づくりをめざし、住民が安全・安心確保のための自発的行動をとれるよう、防災学習の支援を推進します。

取組を定めた要因や背景、地域課題、住民ニーズ等

岩槻本丸公民館の周辺では、高齢・単身世帯が次第に増加しており、大規模災害発生時への不安の声や、避難所の具体的な機能や設備について知りたいとの要望が寄せられました。

令和5度の成果・課題・住民との協働事例等

<取り組んだ内容や、住民との協働事例等>

地域団体のさいたま市手をつなぐ育成会岩槻支部と協働して、地域防災講座を開催します。今年度のテーマは、援助や配慮が必要な方の避難や災害への備えを考える「避難所講座」です。3月6日（水）、当館を会場として開催します。

また、公民館スタッフの意識改革の取組として、区内職員対象にて東日本大地震時の体験を振り返る回想の会を開催し、それぞれの体験の共有とその定着を図りました。

<取組による成果>

「避難所講座」は令和元年度から継続実施していますが、これまでは定員割れ状態での開催でした。今年度は、能登半島地震の影響かと思われますが、定員を上回る勢いで申込があり（2月22日現在）、「備え」への関心の高まりに応えることとなりました。 ※定員20名、2月29日まで申込受付、先着順（定員に達し次第締め切り）

<今後の課題>

災害現場や避難所の実情を伝えるメニューを検討しているところです。万一の事態への不安や恐れから、具体的な場面を想定した準備や心構えへと意識の働きを誘導するようなメニュー、そして実効性のある備えや万一の場合の行動の「型」の形成につながる学習支援のメニューを組立てることが課題であると考えます。

令和5年度 公民館ビジョン取組実績報告書兼推薦書

公民館名：岩槻本町公民館

取組名

【つながりづくり】

岩槻本町公民館は、誰もが気軽に立ち寄れる、地域住民のつながりの場となります。

取組を定めた要因や背景、地域課題、住民ニーズ等

公民館と地域住民をつなげるため、新たに地域住民同士の交流の場づくりを
図る。地域住民と協働によりサークル見学会やふれあい展示会等の地域交流
事業を実施し、新たな出会いと交流の場を提供する。

令和5年度の成果・課題・住民との協働事例等

<取り組んだ内容や、住民との協働事例等>

- ① ふれあい展示会を開催し、地域の方が家で制作した作品を展示する機会を
提供した。展示に関しては参加者と展示方法等打ち合わせを行い、協働し
て事業を行った。
- ② 継続事業のサークル見学会は3月に開催する予定。開催内容については事
前に参加団体と打ち合わせ等を行い、協働して事業を行っていく。
- ③ エレベーター設置記念事業として、1階図書館と共催にてイベントを開催
し、図書館から公民館への人の流れを促進した。

<取組による成果>

- ① 自分で制作した作品を展示したい地域住民と公民館をつなげることができ
た。作品の制作者と公民館利用者との交流も得ることができた。展示方法
も住民と工夫しながら行い、協働して開催することができた。
- ② 3月に実施するサークル見学会では、参加団体と当日の見学者の対応につ
いての役割分担等の打ち合わせを行い、協働して開催する予定。地域住民
とサークルをつなげられるよう取り組む。
- ③ エレベーター設置記念事業において、幅広い方々にサークル見学会等の公
民館事業を周知し、今後の利用につながる機会となった。

<今後の課題>

定例の主催事業には多くの方々に参加いただいているが、ふれあい展示会
等、地域の方々を対象とする講座の参加者はそれほど多くない。ふれあい展
示会やサークル見学会については継続して開催し、参加者を増やしていき
たい。

令和5年度 公民館ビジョン取組実績報告書兼推薦書

公民館名：岩槻南部公民館

取組名

【人づくり】

岩槻南部公民館は、人々の学びのきっかけをつくり、魅力あふれる様々な学びの場となります。

取組を定めた要因や背景、地域課題、住民ニーズ等

当館は、対象区域が広範囲にわたるものの、公共交通機関の整備は十分とは言えず、地域の拠点として住民のニーズに十分に応えることが難しい面がある。そのため、館からの情報発信も多種多様な手段が求められている。

令和5年度の成果・課題・住民との協働事例等

＜取り組んだ内容や、住民との協働事例等＞

・地域の拠点として、住民との接点を増やすため、民生委員・児童委員協議会や地区社会福祉協議会の会場となり接点を増やすほか、公民館まつりに地域の小・中学校の児童・生徒の作品を展示することにより、地域住民との交流を増やしてきた。

＜取組による成果＞

・多くの人の来館が図られ、今後の講座・事業への参加の動機付けが図られるとともに、公民館の魅力に触れていただくことができた。
・公民館まつりにおける児童・生徒の展示により、普段あまり来館することのない年齢層の方にも、公民館の魅力を伝えることができた。

＜今後の課題＞

・今後も地域の関連機関や小中学校と連携を取りながら、より一層地域住民との交流を深めていきたい。
・特定の利用者に偏りがちな公民館を、その魅力の発信に努め地域の拠点となることを目指し、「人づくり」だけでなく、「つながりづくり」「地域づくり」にもつなげていきたい。

令和5年度 公民館ビジョン取組実績報告書兼推薦書

公民館名：岩槻北部公民館

取組名

【つながりづくり】

- ・地域をともにつくり、暮らしを助け地域課題を解決する拠点となる。

取組を定めた要因や背景、地域課題、住民ニーズ等

- ・公民館利用者は高齢者が多く、親子サロンなど子育てに関わる講座への参加者が集まりにくい状況である。そのため、地域と連携し若い世代にも公民館を利用してもらえる取組を実施する。

令和 度の成果・課題・住民との協働事例等

<取り組んだ内容や、住民との協働事例等>

- ・地域の中学生にボランティアとして、小学生向けの講座の助手として参加してもらい、講座運営について公民館と打ち合わせをする等、協働して講座を開催した。
- ・地域の高校のダンス部生徒に、小学生向けのダンス教室の講師をお願いし、講座内容について公民館と打ち合わせをする等、協働して講座を開催した。
- ・公民館まつりの展示の部に、地域の小中学生の作品を展示した。

<取組による成果>

- ・中学生や高校生が公民館の事業に参加し、協働して事業を開催することにより、公民館を身近に感じ、公民館で実施している事業について知ってもらうことができた。

<今後の課題>

- ・地域との連携をさらに深めていけるように、引き続き同様の取り組みを行うとともに、学校以外の機関とも連携を図る必要があると思われる。

令和5年度 公民館ビジョン取組実績報告書兼推薦書

公民館名： 岩槻城址 公民館

取組名

【 つながり づくり】

岩槻城址公民館は、誰もが気軽に立ち寄れる、地域住民のつながりの場となります。

取組を定めた要因や背景、地域課題、住民ニーズ等

利用者の高齢化により、公民館で活動する団体数や会員数が減少してきているが、コロナが5類に移行し、活動を熱心に再開しているサークルもある。地域住民のつながりの場とするため、サークルやボランティア団体と協働し情報提供やイベント等を積極的に行う。

令和5度の成果・課題・住民との協働事例等

<取り組んだ内容や、住民との協働事例等>

- ・公民館団体との協働イベント「サークル体験交流会」を開催し、サークルの活動内容・情報を提供し、利用団体支援と地域交流を図る。
- ・「大正・昭和時代の岩槻の写真展」を開催し、岩槻の歴史や地域の人々の生活の様子を振り返り、地域住民の交流の場とした。

<取組による成果>

- ・「サークル体験交流会」を利用団体と参加希望者の交流の場として開催した。サークル活動が活性化するように、サークルや地域住民の支援の機会とした。参加希望者として延べ21名の申込みがあった。
- ・写真展では、当時の雰囲気を感じ取り、見学者がお互いに声を交わして感想を話し合っているなど、交流の様子が見られた。

<今後の課題>

- ・公民館利用者は以前に比べ徐々に増えてきている。今後も公民館活動を通して地域住民の方々の学びたいという気持ちや、楽しくサークル活動に参加し続けたいという意欲を大切に、講座やイベントの充実、サークル活動の支援を行っていきたい。